

# 平成29年度 事業実施報告書

---

【期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日】

社会福祉法人志摩市社会福祉協議会

## 【 目 次 】

- 結果報告 . . . . . p. 2
  
- I. 法人運営事業 . . . . . p. 2
  - 1. 組織経営基盤の充実強化
  - 2. 福祉拠点の充実
  - 3. 福祉活動の啓発
  - 4. 事業評価と今後の課題 [法人運営事業]
  
- II. 地域福祉活動推進事業 . . . . . p. 16
  - 1. ボランティアセンター事業
  - 2. 福祉教育支援事業
  - 3. 小地域福祉活動
  - 4. 受託事業
  - 5. 福祉サービス利用援助事業
  - 6. 赤い羽根共同募金運動の協力
  - 7. 事業評価と今後の課題 [地域福祉活動推進事業]
  
- III. 在宅福祉サービス事業 . . . . . p. 36
  - 1. 介護保険サービス関係事業
  - 2. 障がい福祉サービス関係事業
  - 3. ふくし移送サービス事業 [福祉有償運送事業]
  - 4. 事業評価と今後の課題 [在宅福祉サービス事業]

### リニューアル ～事業報告に評価を記載しました！～

平成30年度は、「変革」をキーワードに各事業に取り組んでいます。

今回の報告書から、各事業の中区分を単位に【例：1－（1）－〈1〉〈2〉〈3〉〈4〉なら（1）の区分で】、下記の5段階の評価基準で事業評価を記載しました。

- A：計画を大きく上回った。
- B：概ね計画どおり
- C：十分ではなく、努力を要する
- D：計画を大きく下回った
- E：未着手、準備中

平成29年度  
社会福祉法人志摩市社会福祉協議会 事業報告書  
＜平成29年4月1日～平成30年3月31日＞

〔 結果報告 〕

平成29年度は、社会福祉法の改正に伴い、機能性、専門性を強化した新しい役員体制で本会の運営を行いました。

今年度の上半期は、各職員の努力が報われ、介護保険事業、障がい福祉事業ともに堅調に収入が推移しましたが、下半期においては、全国的にインフルエンザが大流行し、本会のデイサービスでも利用を一時的に休止するなど影響を受けました。特に介護保険事業の訪問系サービスでは、大きく実績が低下していますが、環境面での影響よりも、利用者ニーズとサービス提供体制の乖離が主な要因と分析をしており、人材確保の方策とともに早期に事業の方向を見極める必要があります。

しかし障がい福祉サービスにおいては、戦略的なサービス体系の見直し効果が表れて、大きく収入を伸ばしました。支出面では、最低賃金の上昇による影響が懸念されましたが、退職金以外の人件費は抑制されています。事業費では、車両、設備の補修などの経費がかさんでおり、大規模な修繕に関するリスクが存在しています。

平成29年度が初年度となる第3次地域福祉計画・地域福祉活動計画に基づき設置された地域支援コーディネーターは、担当地区において地道に関係づくりを進め、困難な福祉課題を抱えるケースの発見やその対応について、市や地域住民と連携して課題解決を進める体制の第一歩を踏み出しています。地域包括ケアの構築を視野にさらなる関係機関とのネットワーク強化・拡大にも影響力を発揮し今後はスピード感をもって計画の推進に当たらなければなりません。

最後に平成29年度に発生した職員の不幸事は、地域住民への影響も大きく、これまで築き上げた本会の信頼を揺るがせました。新たに処分規定を設けるなど再発防止策を進めており、信頼回復に努めているところです。

慢性的赤字体質からの脱却にむけ覚悟をもって臨んだ平成28年度の流れを継承し、収支バランスのとれた運営が行えましたが、組織の規律性に疑問を生じさせる事案の発生とその対応に関して課題を見出す1年となりました。

【志摩市の人口等の推移】

	平成 25 年 4 月	平成 26 年 4 月	平成 27 年 4 月	平成 28 年 4 月	平成 29 年 4 月
人口	55,526 人	54,595 人	53,592 人	52,645 人	51,872 人
世帯数	22,968 世帯	22,987 世帯	22,902 世帯	22,879 人	22,926 人
65 歳以上人口	18,370 人	18,748 人	19,001 人	19,250 人	19,346 人
高齢化率	33.1%	34.3%	35.5%	36.6%	37.3%

---

## I. 法人運営事業

---

### 1. 組織経営基盤の充実強化

(1) 組織機能の強化 

評価	B
----	---

地域福祉の担い手としてふさわしい事業を住民とともに実施していくため、理事会・評議員会などを中心として、法人運営の強化を図りました。法改正に伴い、役員会、評議員会とも少人数体制となり、たくさんの課題について、細かく協議いただくことができました。

(1) 理事会

期日	議決事項（協議事項）	出席者	開催場所
[第1回] 5月29日	1. 定款の一部変更について 2. 会員規程の一部変更について 3. 委員会規程の一部変更について 4. 事務局規程の一部変更について 5. 公印管理規程の一部変更について 6. 個人情報保護規程の一部変更について 7. 就労継続支援 B 型事業所運営規程の一部変更について 8. 障がい者支援施設えりはら（多機能型）運営規程の制定について 9. 障がい者生活介護センターかがやき運営規程の一部変更について 10. 障がい者生活介護センターきらり運営規程の一部変更について 11. 平成 28 年度事業実施報告について 12. 平成 28 年度社会福祉事業会計決算について 13. 評議員候補者（補欠）について 14. 評議員会の招集について	理事 9 名 監事 2 名	磯部健康福祉センターかがやき
[第2回] 6月15日	1. 会長の選定について 2. 副会長の選定について	理事 9 名 監事 2 名	磯部健康福祉センターかがやき
[第3回] 7月4日	1. サンライフあごの大規模改修後の事業展開について（協議） 2. 合同会社「志摩ふくし水産」の事業方針について（協議）	理事 8 名 監事 2 名	磯部健康福祉センターかがやき
[第4回] 7月31日	1. サンライフあご大規模改修の市との協議結果と今後の対応について（協議）	理事 7 名 監事 1 名	磯部健康福祉センターかがやき
[第5回] 8月29日	1. 経理規程の一部変更について 2. 契約職員・パート職員就業規程の一部変更について 3. 部会規程の廃止について 4. 社会福祉大会における被表彰者及び被感謝者の審査選考について（協議） 5. 合同会社「志摩ふくし水産」の今後の事業方針について（協議）	理事 8 名 監事 2 名	磯部健康福祉センターかがやき
[第6回] 11月10日	1. サンライフあご大規模改修の協議結果について 2. 合同会社志摩ふくし水産への資金の立替について	理事 8 名 監事 2 名	磯部健康福祉センターかがやき

	3. 労働契約法改正（無期転換ルール）に伴う対応について 4. 12月期賞与の支給について 5. 中期発展強化指針（事業計画書）案について（協議）		
[第7回] 11月24日	1. 平成29年度第2回評議員会の招集について	理事9名	（書面協議）
[第8回] 12月12日	1. 平成29年度事業実施中間報告について 2. 平成29年度中間決算報告について 3. 定款の一部変更について 4. 鳥羽磯部漁業協同組合の組合員資格（准組合員）の取得について 5. 処務規程の一部変更について 6. 契約職員・パート職員就業規程の一部変更について 7. 育児休業等に関する規程の一部変更について 8. 中期発展強化指針（事業計画書）について	理事9名 監事2名	磯部生涯学習センター
[第9回] 3月7日	1. 平成29年度第3回評議員会の招集について	理事9名	（書面協議）
[第10回] 3月28日	1. 事業継続計画（BCP）について（報告） 2. 平成29年度資金収支補正予算について 3. 定款の一部変更について 4. 役員等の報酬並びに費用弁償に関する規程の一部変更について 5. 事務局規程の一部変更について 6. 職員就業規程の一部変更について 7. 職員給与規程の一部変更について 8. 契約職員・パート職員就業規程の一部変更について 9. 職員の懲戒処分等の手続及び公表に関する規程の制定について 10. 平成30年度事業計画について 11. 平成30年度資金収支予算について	理事8名 監事2名	磯部健康福祉センターかがやき

〈2〉 監事監査会

期日	内容	出席者	開催場所
[第1回] 5月16日	平成28年度決算監査（下記書類を中心に監査） ①平成28年度事業実施報告書 ②平成28年度財産目録、貸借対照表、事業活動収支計算書、資金収支計算書	監事2名	磯部健康福祉センターかがやき
[第2回] 11月22日	平成29年度中間監査（下記書類を中心に監査） ①平成29年度事業実施中間報告書 ②平成29年度中間決算報告（貸借対照表、事業活動収支計算書、資金収支計算書）	監事2名	磯部健康福祉センターかがやき

〈3〉評議員会

期日	議決事項	出席者	開催場所
[第1回] 6月14日	1. 定款の一部変更について 2. 平成28年度事業実施報告について 3. 平成28年度社会福祉事業会計決算について 4. 役員を選任について	評議員13名 監事2名 会長1名 副会長1名	磯部健康福祉 センターかが やき
[第2回] 12月21日	1. 定款の一部変更について 2. 鳥羽磯部漁業協同組合の組合員資格（准組合員）の取得について 3. 中期発展強化指針（事業計画書）について	評議員12名 監事2名 会長1名 副会長1名	磯部健康福祉 センターかが やき
[第3回] 3月28日	1. 平成29年度資金収支補正予算について 2. 定款の一部変更について 3. 役員等の報酬並びに費用弁償に関する規程の一部変更について 4. 平成30年度事業計画について 5. 平成30年度資金収支予算について	評議員9名 会長1名 副会長2名	磯部健康福祉 センターかが やき

〈4〉役員・評議員研修会・説明会

期日	内容など	出席者	開催場所
6月15日	役員施設見学	理事5名	(巡回)
10月30日	評議員研修会（施設見学含む）	評議員10名	磯部健康福祉 センターかが やき
2月1日	役員及び評議員合同説明会 (職員の懲戒処分について)	理事7名 監事2名 評議員9名	磯部健康福祉 センターかが やき
3月2日	平成29年度トップセミナー	理事5名 監事1名	津市

(2) 財政基盤の強化

評価	C
----	---

本会の経営基盤の確立と事業の充実を図るため、自治会や関係団体の協力を得て会員加入に向けた取り組みを行いました。この中で、ずっと続いている地域の人口減少と高齢化率の上昇は、地域経済に疲弊感をもたらし、社協の自主財源である会費の安定的な確保にも大きな影響を与え減少傾向に歯止めをかけることができない状況です。魅力ある社協事業や会員制度を模索またPRすることにより、協力いただける方を増やしていけるよう努力していきます。

〈1〉一般会費の状況

	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町
納入件数	1,293件	1,451件	2,228件	3,143件	2,183件
納入金額	646,500円	750,484円	1,117,101円	1,521,520円	1,091,000円
納入件数合計	10,298件〔前年比 -477件〕		納入金額合計	5,126,605円〔前年比 -207,573円〕	

〈2〉賛助会費の状況

	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	市外
納入件数	30件	16件	27件	54件	31件	5件

納入金額	93,000円	48,000円	84,000円	175,000円	96,000円	18,000円
納入件数合計	163件〔前年比 -12件〕		納入金額合計	514,000円〔前年比 -80,000円〕		

### 〈3〉特別会費の状況

	浜島町	大王町	志摩町	阿児町
納入件数	6件	20件	11件	99件
納入金額	55,000円	105,000円	130,000円	620,000円
	磯部町	市外		合計
納入件数	34件	6件		176件
納入金額	350,000円	40,000円		1,300,000円

〔前年比： -57件／-320,000円〕

### 〈4〉会費の推移

〔単位：円〕

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
一般会費	5,335,202	5,214,552	5,041,193	5,334,178	5,126,605
賛助会費	631,850	531,000	522,000	594,000	514,000
特別会費	1,750,000	1,680,000	1,663,000	1,620,000	1,300,000
合計	7,717,052	7,425,552	7,226,193	7,548,178	6,940,605

### 〈5〉寄附金の状況

〔単位：円〕

	浜島町	大王町	志摩町	阿児町
寄附件数	8件	11件	5件	21件
寄附金額	364,148円	516,072円	180,000円	850,804円
	磯部町	市外		合計
寄附件数	18件	1件		64件
寄附金額	369,838円	77,947円		2,358,809円

〔前年比： +8件／-481,275円〕

### 〈6〉年度別寄附金額

〔単位：円〕

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
寄附金	3,980,459	2,758,796	12,558,838	2,840,084	2,358,809

### (3) 組織の活性化

評価	B
----	---

#### 〈1〉人事考課制度

試行的に実施してきた人事考課制度を基に作成した人事評価の仕組みを、上半期で本格的に運用させるための準備を進め、下半期に実行しました。評価結果については、自己評価また上司評価のバラつきも多く、次年度に向け、さらに精度を上げる取り組みを行なっていく必要性を確認しました。

月	内容など
6	人事評価制度本格運用の職員への周知、考課者研修の準備など
10	考課者研修の実施（32名参加）
1～2	平成29年度評価シートへ自己評価（異動希望）・上司評価の記入、人事評価面接、平

	成 30 年度目標設定
3	平成 29 年度評価結果のとりまとめ、基本給・時間給への結果反映

## 〈2〉職員研修

職員の資質向上を図るため研修会や講習へ参加させ、専門的な知識や技術の維持向上に努めました。(主な研修会を記載)

### 【総務課】

項目	研修名など	参加者数
基礎的な研修など	1 社会福祉法人役員及び幹部職員研修会 2 人事評価考課者研修会 3 平成 29 年度災害時福祉支援リーダー養成講座 4 平成 29 年度市町社会福祉協議会新任職員研修会フォローアップ研修会	計 35 名
専門的な研修など	1 退職手当共済制度実務研修会	計 1 名
その他	1 職員研修会 (事業計画・予算等) 2 無期転換ルールに関する説明会 3 現金取り扱い事務統一説明会	計 91 名

### 【地域支援課】

項目	研修名など	参加者数
基礎的な研修など	1 生活福祉資金貸付事業担当職員研修会 2 自立相談支援事業従事者養成研修 (3 日間) 3 平成 29 年度生活支援コーディネーター養成研修	計 4 名
専門的な研修など	1 主任相談支援員意見交換会 (3 回) 2 家計相談支援事業従事者養成研修 (3 日間) 3 自立相談支援事業主任相談支援員養成研修 (3 日間) 4 自立相談支援事業相談支援員養成研修 (3 日間) 5 自立相談支援事業就労支援員養成研修 (3 日間) 6 みえ防災コーディネーター志摩の会研修 7 伊勢市生活サポートセンターあゆみ視察 8 みえ福祉の「わ」創業事業説明会 9 こころの健康づくり及び自殺予防対策ネットワーク会議(2 回) 10 平成 29 年度地域福祉担当者会議兼市町ボランティアセンター地域会議 11 共同募金委員会事務局長担当者会議 12 相談事例検討会 (2 回) 13 ひきこもり支援者スキルアップ研修 14 三重県子ども貧困対策推進会議	計 37 名



	15 生活支援コーディネーター研修会 16 精神保健福祉連絡会 17 平成 29 年度社協における総合相談スキルアップ研修 18 職業紹介責任者講習 19 職業安定法に係る研修会 20 平成 29 年度法テラス三重地方協議会 21 平成 29 年度災害ボランティアセンター運営者研修会 22 福祉事務所職員向け研修会 23 虐待防止研修会（障害・高齢分野） 24 災害福祉支援リーダー養成講座 25 平成 29 年度生活支援コーディネーター課題研修 26 成年後見にかかる津家庭裁判所との連絡会議 27 伊勢志摩依存症セミナー 28 ボランティア保険のこれまでとこれから 29 第 3 回地域における支えあい活動セミナー 30 2017 年台風 21 号の災害ボランティア活動を振り返る	
その他	1 山下組出前講座 2 鳥羽市講演会「みんなの働きたいを考える。」 3 映画「0円キッチン」パネルディスカッション 4 伊勢市生活サポートセンターあゆみ講演会 5 いせ若者就業サポートステーション講演会 6 鳥羽市社協地域福祉講演会	計 7 名

【居宅介護支援課】

項目	研修名など	参加者数
基礎的な研修など	1 認定調査員新規研修会 2 志摩市「指定介護予防支援業務の一部委託受託意向事業者を対象とした説明会」 3 精神保健福祉基礎研修 4 三重県相談支援従事者初任者研修 5 認知症サポーター養成出前講座「知ろう！防ごう！認知症」 6 職員勉強会「防災について」 7 人事評価研修 8 志摩市介護予防・日常生活支援総合事業の追加事業についての説明会 9 志摩市介護サービス事業所連絡会前期研修会 10 志摩市介護サービス事業所連絡会後期研修会「介護サービスにおける接遇について 1」 11 志摩市介護サービス事業所連絡会後期研修会「介護サービスにおける接遇について 2」	計 69 名 ※ 認定調査員資格 3 名、相談支援専門員資格 1 名取得

	<p>12 精神保健福祉連絡会「基本的な面接方法と精神症状のある方へのかかわりのポイント」</p> <p>13 〃 「家族相談員の心構えとスキル」</p> <p>14 こころしっとこセミナー「うつ病について知ろう」</p> <p>15 福祉用具セミナー</p>	
<p>専門的な研修など</p>	<p>1. 認定調査員現任研修</p> <p>2 介護支援専門員更新研修Ⅰ</p> <p>3 介護支援専門員研修Ⅱ</p> <p>4 主任介護支援専門員研修</p> <p>5 第17回介護支援専門員近畿ブロック研究大会</p> <p>6 志摩市ケアマネジャー研修第1回「サービス担当者会議の意義と進め方」</p> <p>7 志摩市ケアマネジャー研修第2回「薬剤師の在宅業務」</p> <p>8 志摩市ケアマネジャー研修第3回「メンタルヘルスケア」</p> <p>9 三重県介護支援専門員協会南勢志摩市部研修会「ケアプラン点検と給付の適正化」</p> <p>10 三重県介護支援専門員協会南勢志摩市部研修会「大規模災害の発生に備えた平常時の備えと災害発生時を想定した災害対策机上訓練」</p> <p>11 三重県介護予防従事者研修会</p> <p>12 三重県相談支援従事者現任研修</p> <p>13 志摩市相談事業所会議（4/12）</p> <p>14 志摩市相談事業所会議（事例検討・志摩福祉センター）</p> <p>15 志摩市相談事業所会議（事例検討・ゆうゆう）</p> <p>16 志摩市相談事業所会議（事例検討・かがやき）</p> <p>17 志摩市相談事業所会議（メンタルヘルス）</p> <p>18 県立志摩病院多職種研修「結核に関する知識を増やそう」</p> <p>19 〃 「歯科医師による講義&amp;グループディスカッション」</p> <p>20 〃 「大腿骨頸部骨折後のリハビリについて」</p> <p>21 〃 「製剤技術から見る薬の飲み方飲ませ方～夏こそ気になる薬の保管方法」</p> <p>22 〃 「風邪と間違えやすい疾患いろいろ」</p> <p>23 〃 「夏に多い皮膚疾患について学ぼう」</p> <p>24 〃 「講義（歯科医師）&amp;グループディスカッション」</p> <p>25 〃 「市販薬の選び方 風邪薬・痛み止めなど」「在宅医療・施設在宅について」</p> <p>26 〃 「心疾患に関する知識を増やそう」</p> <p>27 〃 「講義（歯科医師）&amp;グループ別の交流会」</p> <p>28 〃 「知っているようで知らない感染症の予防と対策」</p> <p>29 〃 「講義（薬剤師）&amp;グループ別の交流会」</p>	<p>計 298 名</p> <p>※主任介護支援専門員資格 2名取得</p>

	<p>30 〃 「高齢者に多い整形外科の骨折」</p> <p>31 〃 「医療機器について学ぼう」</p> <p>32 県立志摩病院「第5回志摩地域まるごとケア交流会」</p> <p>33 県立志摩病院「第6回志摩地域まるごとケア交流会」</p> <p>34 県立志摩病院「第7回志摩地域まるごとケア交流会」</p> <p>35 介護保険事業所&amp;県立志摩病院連絡会 「ターミナル期の人に関する知識と理解を深める」</p> <p>36 〃 「肝性脳症による入退院を繰り返す独居男性の支援」</p> <p>37 〃 「入院時に必要な情報や病院に期待すること」</p> <p>38 〃 「通所リハビリテーションの開始」身寄りのない人の支援について</p> <p>39 介護支援専門員・日赤 MSW 合同研修会「みんなで学ぼう！肺疾患！」</p> <p>40 〃 「難病患者に対する多職種のかかわりについて」</p> <p>41 〃 「各地域包括支援センターの認知症高齢者の取り組みについて」</p> <p>42 〃 「在宅での看取りを支援していくために地域でどのように連携して行くか」</p> <p>43 第1回志摩市歯と口の健康づくり推進ネットワーク会議</p> <p>44 第2回志摩市歯と口の健康づくり推進ネットワーク会議</p> <p>45 第3回志摩市歯と口の健康づくり推進ネットワーク会議</p> <p>46 指導監査実施方針・介護保険サービス事業運営等に係る留意事項について</p> <p>47 伊勢市障がい者サポーター研修会</p> <p>48 三重県障がい者相談員等研修会</p> <p>49 認知症の症状と治療～薬物治療と非薬物治療について</p> <p>50 認知症になっても安心して暮らせる町づくり研修会</p> <p>51 関係機関との連絡協議会「職業準備性と就労におけるアセスメント」</p> <p>52 志摩市虐待防止研修会</p> <p>53 志摩市地域ケア会議</p> <p>54 業種別研修障害福祉施設職員研修Ⅱ「サービス利用計画と個別支援計画の作成について学ぶ」</p> <p>55 福利厚生センター地方委託講演会メンタルヘルス講座「メンタルヘルスについて」「ストレスと心の健康」</p> <p>56 精神保健福祉連絡会「迷惑行為でしか自分を表現できない発達障がいのある方の支援期間の対応方法と家族への助言・提案」</p> <p>57 志摩市研修会「医療・介護連携・そして地域へ元気高齢者を生み出す」</p>	
--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

	<p>58 ゲートキーパー養成講座継続研修「悩みを抱える人の話を聴くときのポイントと実際」</p> <p>59 居宅介護支援課合同研修発表会</p> <p>60 伊勢志摩依存症セミナー</p> <p>61 自立支援型地域ケア会議（事業説明・講義・模擬会議）</p> <p>62 自立支援型地域ケア会議機構会議</p> <p>63 医療職研修会「志摩地域が目指す医療介護連携」</p> <p>64 地域共生社会を実現し、地域包括ケアをするためのケアマネジメント（障がい制度活用）</p> <p>65 成年後見制度研修会・相談会「演劇で知ろう成年後見制度」</p> <p>66 県民公開講座「自覚できない伝えられない」</p> <p>67 ペアレントトレーニングほめ言葉の処方箋</p> <p>68 志摩市高齢者虐待事例検討会</p> <p>69 障がい福祉施設の防犯対策</p>	
その他	<p>1 伊勢メディケアセンターひかりの橋開設記念見学会</p> <p>2 志摩市介護サービス事業者連絡会</p> <p>3 介護保険サービス事業者集団指導</p>	計 10 名

【訪問サービス課】

項目	研修名など	参加者数
基礎的な研修など	<p>1 こころの健康教育一般向け講座</p> <p>2 人事評価研修</p> <p>3 阿児安全衛生委員会研修会「腰痛予防」</p> <p>4 阿児安全衛生委員会研修会「防災についてⅠ」</p> <p>5 阿児安全衛生委員会研修会「メンタルケア・肩痛予防」</p> <p>6 阿児安全衛生委員会研修会「緊急時の対応・防災Ⅱ」</p> <p>7 阿児安全衛生委員会研修会「接遇について」</p> <p>8 阿児安全衛生委員会研修会「防災Ⅲ」</p> <p>9 介護予防日常生活支援総合事業説明</p> <p>10 ヘルパー勉強会「感染症・食中毒の予防」</p> <p>11 ヘルパー勉強会「認知症利用者への対応について」</p> <p>12 ヘルパー勉強会「脱水予防」</p>	計 173 名
専門的な研修など	<p>1 三重県訪問看護ステーション連絡協議会地区委員会</p> <p>2 看護師職能委員会Ⅱ地区別看護ネットワーク集会</p> <p>3 がん看護研修（基礎）「コミュニケーション①」</p> <p>4 がん看護研修（基礎）「コミュニケーション②」</p> <p>5 がん看護研修（基礎）「コミュニケーション②」</p> <p>6 がん看護研修（基礎）「がんの特性と疫学」</p> <p>7 がん看護研修（基礎）「がん化学療法総論」</p>	計 67 名

	8 がん看護研修（基礎）「がん患者の意思決定支援」 9 介護サービス連絡協議会「介護サービスにおける救急救護について」 10 志摩市介護サービス事業所連絡会後期研修会「介護サービスにおける接遇について」 11 「養介護施設従事者等向け虐待防止に関する研修会」 12 伊勢志摩地区看護職連携における交流会 13 三重県相談支援従事者現任研修 14 鳥羽志摩地区医療職交流会 15 「認知症研修会」 16 看護師職能委員会Ⅱ地区別研修会事例発表会「施設・自宅それぞれの場所での看取り」 17 自立支援型地域ケア会議（事業説明・講義・模擬会議） 18 ゲートキーパー養成継続研修 19 介護のための医学の基礎研修	
その他	1 介護保険サービス事業者等集団指導（福祉用具） 2 防火管理者更新講習会 3 安全運転管理者講習会 4 志摩市介護サービス事業者連絡会総会 5 障害福祉サービス等事業者説明会 6 ヘルパー会議（毎月の情報共有）	計 245 名

#### 【通所介護課】

項目	研修名など	参加者数
基礎的な研修など	1 志摩市 こころの健康教育一般向け講座 2 三重県相談支援従事者初任者研修 3 介護予防日常生活支援総合事業説明 4 志摩市 認知症を考える市民のつどい 5 防災勉強会 6 接遇勉強会	計 23 名 ※相談支援従事者初任者研修は 1 名受講
専門的な研修など	1 三重県デイサービスセンター協議会総会&第 1 回研修会 2 志摩市介護サービス事業者連絡会総会 3 三重県デイサービスセンター協議会第 1 回伊勢志摩ブロック研修 4 三重県デイサービスセンター協議会第 2 回研修会 5 志摩病院多職種研修会 6 三重県デイサービスセンター協議会第 2 回伊勢志摩ブロック研修会 7 志摩市介護サービス事業者連絡会後期研修会 8 日本通所ケア研究大会（広島）	計 80 名

	9 三重県デイサービスセンター協議会第3回伊勢志摩ブロック研修会 10 防災・緊急対応研修会 11 志摩市養介護施設従事者等向け虐待防止に関する研修会 12 三重県デイサービスセンター協議会総会&集合研修会 13 視察研修（菰野城山苑・いなべ社協）	
その他	1 安全運転管理者講習 2 介護保険サービス事業者集団指導 3 安全衛生委員会研修会 4 防火防災管理講習	計 16 名

【障がい福祉課】

項目	研修名など	参加者数
基礎的な研修など	1 ほめちぎる人財育成法 2 志摩市人権講座①～④ 3 三重県相談支援従事者初任者研修 4 新規事業所説明会 5 防災研修 6 人事評価研修 7 障害福祉サービス事業者等集団指導 8 三重県福祉サービス事業者説明会	計 31 名
専門的な研修など	1 志摩市地域自立支援協議会定例会（毎月） 2 地域啓発プロジェクト会議（毎月） 3 働くプロジェクト会議（毎月） 4 地域生活支援会議（4回/年） 5 平成29年度水福連携現地研修会 6 南勢地区障がい福祉サービス事業所連絡協議会総会 7 志摩市障害者施策推進協議会 8 志摩市障害福祉計画策定委員会 9 障がい者地域ケア会議（6回/年） 10 玉城わかば特別支援学校事業所向け見学会 11 就労支援実践セミナー 12 喀痰吸引等研修（第三号）（特定の者対象） 13 自立支援協議会虐待研修 14 三重県相談支援従事者初任者研修 15 サービス管理責任者研修（全体・就労） 16 サービス管理責任者研修（児童） 17 ノロウイルス研修会 18 業種別研修障害福祉施設職員研修Ⅱ 19 三重県障がい者虐待防止・権利擁護研修	計 151 名

	20 サービス等利用計画と個別支援計画の作成について 21 平成 29 年度三重県強度行動障害支援者養成研修（基礎） 22 社会福祉法人おおすぎ実践報告会 23 伊勢志摩圏域障がい児等療育相談支援事業講演会 24 れんげの里自閉症講習会 25 伊勢志摩圏域自立支援連絡協議会就労支援部会講演会 26 障がい福祉課内虐待研修 27 第 4 回東海三県小児在宅医療研究会	
その他	1 安全運転管理者講習会 2 安全衛生研修（腰痛予防体操等） 3 平成 29 年度防火管理者講習 4 緊急時の対応と防災について(阿児支所研修) 5 メンタルヘルス研修～セルフケアについて考える～ 6 在宅における医療的ケアの技術研修 7 肩痛予防(阿児支所研修)	計 16 名

(4) 事業継続計画（BCP）の策定

評価	C
----	---

南海トラフ地震など、市民及び市の地域福祉活動に多大な被害を及ぼすおそれのある災害に対し本会がその機能を継続するため、優先して実施する事業や業務の選定や資源の配分等について検討し、事業継続計画（BCP）の策定に取り組みました。

作業部会で協議を行い策定してきましたが、拠点被災時の職員参集想定や連絡体制その他の課題があるため、継続して事業継続計画の策定に取り組みます。

〈1〉作業部会

期日	議決事項（協議事項）	出席者	開催場所
[第 1 回] 11 月 14 日	・ 計画策定スケジュール、体制等の確認 ・ 検討内容の確認、他	7 名	かがやき
[第 2 回] 12 月 14 日	・ 基本方針(案)について ・ 緊急事態における対応の流れについて、他	7 名	かがやき
[第 3 回] 1 月 11 日	・ 計画内容の修正箇所の確認 ・ 拠点被災時も継続する事業・業務、早期立ち上げる事業・業務について、他	7 名	かがやき
[第 4 回] 1 月 25 日	・ 計画内容の修正箇所の確認、他	5 名	かがやき
[第 5 回] 2 月 7 日	・ 計画内容の修正箇所の確認、他	7 名	かがやき
[第 6 回] 2 月 21 日	・ 計画内容の修正箇所の確認、他 ・ 管理職会議への提出内容の確認	7 名	かがやき

〈2〉管理職会議での報告（12 月 26 日経過報告、3 月 5 日今年度最終報告）

## 2. 福祉拠点の充実

### (1) 志摩市地域福祉センターの運営

評価	B
----	---

志摩市から指定され地域福祉センターの管理を行うとともに、地域福祉センターにおいて福祉を目的とする住民の交流及び活動の場を提供し、地域における住民の自主的な福祉活動を支援しました。なお、浜島地域福祉センターにおいても、地域福祉関係者やボランティア団体の皆さまが、年に数回程度利用を行っています。次年度より記録をとり、掲載いたします。(志摩市及び本会主催の会議等を含む)

指定管理施設名	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計	
浜島地域福祉センター	—	—	—	—	—	—	—	—	
大王地域福祉センター	件数	6件	7件	6件	5件	2件	7件	33件	
	利用者数	49名	47名	39名	40名	10名	132名	317名	
阿児地域福祉センター	件数	—	13件	19件	13件	18件	16件	79件	
	利用者数	—	24名	39名	31名	31名	28名	153名	
磯部地域福祉センター	件数	32件	34件	37件	31件	23件	26件	183件	
	利用者数	235名	172名	241名	196名	132名	114名	1,090名	
指定管理施設名	区分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
浜島地域福祉センター	—	—	—	—	—	—	—	—	—
大王地域福祉センター	件数	9件	5件	11件	5件	11件	12件	53件	86件
	利用者数	76名	50名	49名	39名	68名	44名	326名	643名
阿児地域福祉センター	件数	18件	14件	14件	15件	18件	18件	97件	176件
	利用者数	38名	32名	26名	25名	41名	32名	194名	347名
磯部地域福祉センター	件数	32件	32件	39件	33件	50件	37件	223件	406件
	利用者数	332名	272名	438名	384名	444名	394名	2,264名	3,354名

## 3. 福祉活動の啓発

### (1) 広報活動の推進

評価	C
----	---

広報誌やホームページを活用して本会の役割や活動などの情報提供・発信に努めました。ホームページの組織的・効率的な活用を、今後模索していきたいと思えます。

〈1〉 志摩市社会福祉協議会ホームページの運営 [ [https:// www.shima-fukushikyo.or.jp](https://www.shima-fukushikyo.or.jp) ]  
内容 / 事業紹介、各種情報提供、ブログ (支所活動・市民活動)、その他

〈2〉 広報誌「志摩市社協だより」 の発行  
発行回数 / 計6回発行 (奇数月の1日発行)  
A4版2色刷り (4ページ) / 約17,250部発行 (1回あたり)

### (2) 平成29年度志摩市社会福祉大会の開催

評価	C
----	---

多年にわたりにわたり地域福祉の向上に率先して、ご尽力、ご協力いただいた方々のご功



績に心から敬意と感謝の意を表わすとともに、これを契機として本会と地域住民が互いに協力し模索し合いながら、更に地域福祉を充実させていこうとする気運を醸成することを目的として開催しました。広報活動という観点からは、参加者数を増やしていく方策を検討していかねばならないと考えています。

開催日 / 平成 29 年 10 月 8 日 (日) 場所 / 磯部生涯学習センター  
顕彰者数 / (表彰) 12 名・2 団体、(感謝) 3 名・7 団体  
延べ参加者数 / 約 200 名  
活動発表 / 志摩夢まちサポーターズ (志摩町海岸クリーン大作戦)  
志摩市立志島小学校 (地域とのふれあい活動)  
記念講演 / 「子どもの貧困について考える」(生活困窮者自立支援事業共同開催)  
大阪子どもの貧困アクショングループ (CPAO) 代表 徳丸ゆき子氏

#### 4. 事業評価と今後の課題 [法人運営事業]

社会福祉法人改革に伴い役員・評議員数が減員され、経営の諸課題について深く議論をしていただくことが可能な体制となりました。今後、事務局としても適正な情報を提供し、的確な経営判断をしていただけるよう努めていきたいと思えます。

また、職員の業績・能力の発揮度合を把握し、処遇、適性配置及び人材活用などに反映させ、能力開発を促すこと目的に試行的に実施してきた人事評価を、本格的に運用開始しました。面接を実施することで職員間の風通しもよくなり相互理解が深まったのではないかと思料していますが、評価結果についてはバラつきもあり、今後、評価者研修や評価者の目線合わせを繰り返し行なうことで、制度の信頼性を高めていく必要があると考えています。

本年度は、職員の不祥事が発覚したことに伴い、懲戒処分手続の見直しや公表方法を制定するとともに、現金の取り扱いに関し再発防止の取組を強化しました。

経営収支については、前年の当期活動増減差額と比較すると約 3,200 万円増益となり、緩やかに改善しました。とはいえ、退職金支払いのための内部積立金や設備老朽化維持費等の引当など、まだまだ健全運営に向けた課題は山積しています。また、収入面においては、法改正による介護報酬の改定などから今後も右肩下がりの状況が続いていくと予想され、楽観できる状況ではありません。

今後も、収支バランスを保ち安定的な経営ができるよう、業務の効率化と経費の節減を図っていききたいと思えます。

## II. 地域福祉活動推進事業

### 1. ボランティアセンター事業

#### (1) ボランティア活動の相談支援

評価	B
----	---

##### 〈1〉相談支援実績

ボランティア・市民活動の相談窓口となり、ボランティア・市民活動に関する相談援助、コーディネート業務 (調整)、情報提供、登録事務、活動費の助成などの業務を全般的に行ないました。相談件数は、前年度に比べ 1.8 倍となっていますが、登録団体数、会員数とも年々減少しており、登録することのメリットを更に伝えていく必要があります。

	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	市外	合計
相談・助言	16件	30件	12件	140件	41件	14件	253件
登録団体数	6団体	6団体	6団体	13団体	18団体	0団体	49団体
登録団体会員数	88名	226名	139名	205名	416名	0名	1,074名
個人登録者数	6名	1名	21名	20名	24名	2名	74名
活動費の助成 (1団体/上限10,000円)	50,000円	50,000円	57,000円	110,000円	170,000円	0円	437,000円

〈2〉地域福祉を推進する団体への事業費の助成〔一般募金・歳末たすけあい募金配分金を使用〕

住民による先駆的な福祉活動やまちづくり活動の推進を図るために、創意工夫をこらして主体的にすすめる事業に対し事業費を助成しました。新規申請団体は1団体のみで、他は継続して活動に取り組んでいる団体からの申請となっています。地域福祉活動を幅広く支援するために、助成基準や助成額を見直し、市民から理解が得られる分かりやすいしくみにしていきたいと考えています。

〈助成団体〉

助成総額 1,722,000円 / 助成団体数 18団体			
団体名	助成額	団体名	助成額
阿児町心身障害児者育成会	100,000円	志摩夢まちサポーターズ	100,000円
アリス	100,000円	大王地区夢まちづくり委員会	100,000円
磯部楽打天晴倶楽部	100,000円	鳥羽志摩地域家族会みしま会	100,000円
えがお志摩保育園	75,000円	なでしこ会	85,000円
しま子育て応援団	100,000円	みえ防災コーディネーター志摩の会	100,000円
志摩人形クラブ	80,000円	NPO法人Peace Design	90,000円
志摩の文化を豊かにする会	92,000円	自治会連合会(5地区)	500,000円

〈3〉音声情報提供事業

朗読ボランティアグループ（やまびこ：浜島、夕風：大王、浜風：阿児、さくらんぼ：磯部）の協力を得て、視覚障がい者を有する方に、志摩市が発行する「広報しま」、「議会だより」及び志摩市社会福祉協議会が発行する「社協だより」などを音訳し配布しました。

	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計
実利用者数	0名	0名	1名	9名	6名	16名

〈4〉地区夢まちづくり委員会

①地区夢まちづくり委員会の活動支援

大王地区及び志摩地区には、地域福祉計画の策定をきっかけに組織された夢まちづくり委員会が住民主体の活動を行っており、その取り組みを支援しました。

②地区夢まちづくり委員会の活動実績

地区	期日	内容及び参加者数	
大王	9月9日	きれいにしよーな大作戦	参加者数：118名

志摩	5月21日	第1回志摩町海岸クリーン大作戦	参加者数：104名
	7月2日	第2回志摩町海岸クリーン大作戦	参加者数：112名
	10月1日	第3回志摩町海岸クリーン大作戦	参加者数：124名

#### 〈5〉ボランティア交流会の開催

今年度は、サロボランティアを対象に情報交換と親睦を行うことで更なる活動の充実に繋げていくため、ボランティア交流会を開催しました。広域的な取り組みにより、広く情報交換を行うことができ今後への活動に結びついたという意見がある一方、参加団体に偏りもみられることから、開催エリアを分けるなど参加しやすい工夫が必要となってきます。

期日	会場	参加者
3月12日	立神ふれあいセンター	51名

## 2. 福祉教育支援事業

### (1) 福祉協力校の指定〔一般募金配分金を使用〕

評価	B
----	---

市内の学校を福祉協力校として指定し、福祉学習を推進する事業費を助成しました。高齢者や障がい者等との交流体験や福祉体験学習などを通して、学校教育のなかで福祉への関心を高める機会となりました。しかし、各学校の事業取組みにバラつきがあり、有効な助成金の活用については課題もあるため更に理解を深める必要があります。

#### 〈1〉福祉協力校の指定

	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計
30,000円	2校	0校	2校	6校	3校	13校
40,000円	0校	0校	0校	1校	0校	1校
60,000円	0校	1校	0校	3校	0校	4校
合計	60,000円	60,000円	60,000円	400,000円	90,000円	670,000円

#### 〈2〉福祉学習

子どもたちに福祉への関心呼び覚まし、その実践を通じて、福祉のまちづくりを支える基盤となる社会連帯の精神を育むことを目的に市内の学校と連携して福祉学習を実施しました。

地区	期日	内容	会場	参加者
大王	7月25日 7月26日 7月28日 7月31日	夏休み福祉体験教室 「デイサービスボランティア体験」	ゆうゆう苑	大王中学校 生徒2名 生徒2名 生徒6名 生徒2名
	7月25日	夏休み福祉体験教室 「ともやま交流会」	ともやま公園	大王小学校 児童14名 ボランティア13名

	12月12日	あいのその交流会	大王幼稚園	大王幼稚園 園児 34名
	12月15日	視覚障がい者の日常生活について アイマスク体験	大王小学校	大王小学校 4年生 児童 27名
志摩	6月20日	ガイドヘルプ	志摩中学校	志摩中学校 2年生 生徒 68名
	6月29日	車いすの使い方	志摩中学校	志摩中学校 1年生 生徒 60名
	7月25日	夏休み福祉体験教室 「ともやま交流会」	ともやま公園	志摩小学校 児童 27名 ボランティア 1名
	7月26日	夏休み福祉体験教室 「デイサービスボランティア体験」	ゆうゆう苑	志摩中学校 生徒 3名
	10月24日	アイマスク・リフト車体験	志摩小学校	志摩小学校 4年生 児童 52名
	10月31日	車いすの使い方	志摩小学校	志摩小学校 4年生 児童 51名
	3月1日	視覚障がい者の日常生活について	志摩小学校	志摩小学校 4年生 児童 53名
阿児	6月19日	車いすの使い方	鵜方小学校	鵜方小学校 4年生 児童 88名
	7月24日 7月28日	夏休み福祉体験教室 「デイサービスボランティア体験」	サンラフあご	文岡中学校 生徒 2名 生徒 1名
	10月16日	アイマスク体験	鵜方小学校	鵜方小学校 4年生 児童 86名
	10月19日	視覚障がい者の日常生活について 点字	甲賀小学校	甲賀小学校 4年生 児童 34名
	10月26日	視覚障がい者の日常生活について 点字	鵜方小学校	鵜方小学校 4年生 児童 86名
	12月11日	疑似体験	神明小学校	神明小学校 6年生 児童 20名
	12月12日	疑似体験	神明小学校	神明小学校 5年生 児童 31名 神明小学校 6年生 児童 21名
	2月7日	手話	神明小学校	神明小学校 2年生 児童 34名 神明小学校 3年生 児童 38名
	2月15日	視覚障がい者の日常生活について 点字・アイマスク体験	神明小学校	神明小学校 4年生 児童 35名
磯部	8月3日 8月4日	夏休み福祉体験教室 「デイサービスボランティア体験」	かがやき	磯部中学校 生徒 3名 生徒 2名

	10月24日 27日	磯部デイサービスとの交流会 「デイサービスボランティア体験」	かがやき	磯部小学校3年生 児童25名 児童25名
--	---------------	-----------------------------------	------	----------------------------



6/29 福祉体験教室 鵜方小学校  
～車いす体験の様子～



7/25 夏休み福祉体験教室  
ともやま交流会 ～防災体験の様子



10/19 福祉体験教室甲賀小学校  
～視覚障がい者の方のお話と点字～



12/12 福祉体験教室神明小学校  
～疑似体験～

### TOPIX

福祉体験プログラムでは、「いかに、上手に車いすを操作するか」ではなく、「利用者が安心して乗るためにはどうしたらいいか」、「より人間関係をつくるためにはどうしたらいいか」、などについて考えてもらえるような内容にしています。

### 〈3〉介護人材の育成支援

次の世代を担う介護・福祉の人材を育成するため高等学校、大学、事業所などの機関より実習希望者を受け入れました。

	人数	備考
社会福祉士相談援助実習	1名	社会福祉士受験資格取得に係る実習（180時間以上）
介護等体験実習	12名	小、中学校教員免許資格取得に係る実習（40時間） （はばたき2名、阿児通所7名、浜島通所3名）
その他	4名	ワンステップ研修（志摩市役所）（はばたき）
合計	12名	

### 3. 小地域福祉活動

#### (1) 地域ふれあいサロンへの支援

評価	B
----	---

##### 〈1〉活動支援

地域支援コーディネーターの行動目標である地域住民と「顔の見える関係」を築くために、いきいきサロンへ出向き、地域に合った仕組みづくりを進めました。チラシ作成や介護予防教室の開催支援、外出時による送迎支援等により、地区の人と人との橋渡しに努め、地域でのサロン運営がさらに活性化できるよう支援しました。



ふれあいサロン創作活動の様子



サロンでの介護予防体操の様子

#### (2) 災害時要援護者支援台帳

評価	C
----	---

志島地区にて志摩市と自治会と連携し、災害時に支援が必要な要援護者の避難訓練に向けた検討会議を行ない、市の防災訓練の日に、実際の志島地区要援護者名簿に基づき避難訓練をしました。参加者からは、避難の困難さが予想以上だった。訓練の大切さを感じた。等防災意識を高めるよい機会になった。

また迫子地区にて未実施であった要援護者の把握のための調査に向けての準備及び住民への説明を行ないました。結果、自治会と自主防災組織の呼びかけによる災害時要援護者名簿の作成に至りました。

#### (3) 在宅介護支援（実態把握・小地域支え合いネットワーク）

評価	B
----	---

福祉委員や民生委員などから寄せられた情報をもとに実態把握を行ないました。見守りが必要と判断した方には、地域見守り事業（配食サービス等）を活用するなど、民生委員や福祉委員と情報共有を行ない継続的に見守り支援を行っています。

#### (4) 民生委員児童委員協議会

評価	B
----	---

地区民生委員児童委員協議会の事務局として民生委員児童委員との連携を一層強化し、小地域での福祉活動を推進しました。地域支援コーディネーターの配置により、より地域に密着した支援を行うことができました。

協議会名	委員数	定例会	役員会	専門部会
浜島地区民生委員児童委員協議会	17名	6回	0回	0回
大王地区民生委員児童委員協議会	17名	6回	0回	7回
志摩地区民生委員児童委員協議会	22名	6回	6回	14回

阿児地区民生委員児童委員協議会	42名	6回	6回	5回
磯部地区民生委員児童委員協議会	22名	6回	6回	7回

(5) 福祉委員会〔一般募金配分金を使用〕

評価	B
----	---

地域において福祉に関する課題や要望を把握し、助け合い活動を展開して地域の人たちがともに「福祉でまちづくり」をすすめていく「推進役」である福祉委員会の活動を支援しました。

地区	委員会名	委員数	主な活動内容	助成額
浜島	桧山路地区福祉委員会	9名	サロン活動、朝市の実施など	65,000円
	塩屋地区福祉委員会	8名	サロン活動、会食会の実施など	65,000円
	迫子地区福祉委員会	14名	サロンの実施、見守り活動など	65,000円
大王	船越地区福祉委員会	5名	訪問活動、炊き出し体験など	60,000円
阿児	鵜方地区福祉委員会	10名	見守り活動、地域ボランティアへの協力	65,000円
	神明地区福祉委員会	18名	見守り活動、ふれあい交流会など	65,000円
	立神地区福祉委員会	15名	見守り活動、資源回収など	65,000円
	志島地区福祉委員会	11名	見守り活動、炊き出しなど	65,000円
	甲賀地区福祉委員会	9名	見守り活動、サロンの実施など	65,000円
合計				580,000円

(6) 見守り支援員

評価	B
----	---

磯部町内の自治会に対し、見守り支援員を依頼し、安否確認活動を推進しました。

地区	内容
磯部	磯部町内の22地区の各自治会に168名の見守り支援員をお願いして、見守りが必要な方に日頃の自治会活動を通じて安否確認などの支援活動を行ないました。

(7) 地域見守り事業〔歳末たすけあい募金配分金を使用〕

評価	B
----	---

訪問活動やふれあい弁当の配食サービスなどを通じて、地域での支えあい活動や交流、見守り活動の促進に努めました。

◇ 定期訪問等（ふれあい弁当の配食・安否確認）						
	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計
延べ実施回数	19回	20回	16回	20回	20回	95回
延べ利用者数	656名	234名	974名	575名	1,594名	4,033名
◇ 会食サービス（相互交流・親睦）						
	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計
延べ実施回数	1回	0回	1回	0回	1回	3回
延べ利用者数	6名	0名	6名	0名	15名	27名



地区	実施月	内容	延べ利用者数
浜島	7・8月	ふれあい弁当の配食を実施しない月に、日用品を配布し、安否確認を行ないました。 実施回数／2回	73名
大王	7・8月	ふれあい弁当の配食を実施しない月に、日用品を配布し、安否確認を行ないました。 実施回数／4回	50名
志摩	6～9月	ふれあい弁当の配食を実施しない月に、日用品を配布し、安否確認を行ないました。 実施回数／4回	529名
阿児	7・8月	ふれあい弁当の配食を実施しない月に、福祉委員会や小中学生が、日用品や花、飲み物等を配布し安否確認を行ないました。 実施回数／各地区2～4回	110名
磯部	7・8月	ふれあい弁当の配食を実施しない月に、日用品を配布し、安否確認を行ないました。 実施回数／2回	156名

(8) 地域ふれあいサロン支援事業〔歳末たすけあい募金配分金を使用〕 

評価	A
----	---

地域で孤立することなく安心して暮らせるまちづくりを目指し、地域住民が主体となって取り組む交流拠点づくりを支援しました。

	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計
助成件数	7件	3件	9件	11件	18件	48件
助成額	207,000円	88,000円	211,000円	324,000円	510,000円	1,340,000円

(9) 防災関連事業 

評価	C
----	---

〈1〉志摩町地域防災対策に向けた協力支援

自治会をはじめ、民生委員、消防署、消防団、小学校、中学校、幼稚園、介護サービス事業者など地域の関係機関がそれぞれの立場から防災に関連した取組みの現状や活動について、連携・共有を図るためのネットワーク会議へ協力しました。

期日	内容	会場	参加者
9月29日	第1回和具防災ネットワーク会議	社協前島庵	10名

(10) 「みんなのふくしまつり in 浜島町」(志摩市地域福祉フェスタ) 

評価	B
----	---

第2次志摩市地域福祉(活動)計画に掲げた地域福祉活動を推進するための啓発事業(志摩市地域福祉フェスタ)は昨年度をもって終了しましたが、今年度も継続して開催していくこととし、志摩市、市民と協働して開催しました。

期日	内容	会場	参加者
5月22日	志摩市地域福祉フェスタ(仮称)事務局会議	志摩市役所	4名
7月28日	第1回地域福祉フェスタ準備委員会	浜島生涯学習センター	10名
8月21日	第2回地域福祉フェスタ準備委員会	ちしろ	7名
9月26日	第1回みんなのふくしまつり実行委員会	ちしろ	22名
10月5日	第2回みんなのふくしまつり実行委員会	浜島生涯学習センター	15名
10月20日	第3回みんなのふくしまつり実行委員会	ちしろ	14名



11月16日	第4回みんなのふくしまつり実行委員会	浜島生涯学習センター	18名
11月26日	みんなのふくしまつり in 浜島町 開催	浜島 B&G 海洋センター	600名

(11) 地域福祉(活動)計画の推進

評価	B
----	---

○地域支援コーディネーターによる地域訪問

- ・各町に地域支援コーディネーターを配置し、月に各町10回以上の地域訪問を実施しました。
- ・昨年実施した地区座談会で出た地域からの意見を踏まえ、まずは、支え合い推進による地域活性のため、地域アセスメントへの情報収集と地区ごとの実情の聞き取りを目的に地域訪問を進めました。

〈地域訪問等活動件数〉

	浜島	大王	志摩	阿児	磯部	合計
4月	11件	12件	29件	21件	36件	109件
5月	16件	18件	32件	16件	50件	132件
6月	14件	27件	40件	42件	69件	192件
7月	26件	27件	32件	31件	72件	188件
8月	29件	31件	31件	44件	72件	207件
9月	45件	51件	30件	70件	77件	273件
10月	48件	43件	29件	41件	43件	204件
11月	43件	64件	32件	33件	60件	232件
12月	33件	35件	22件	47件	43件	180件
1月	18件	43件	27件	45件	46件	179件
2月	17件	32件	29件	31件	93件	202件
3月	29件	36件	35件	38件	55件	193件
合計	329件	419件	368件	459件	716件	2,291件

○市の相談支援調整会議との連携会議

地域支援コーディネーターと市の相談支援調整会議が、お互いに情報を共有して連携を深め、いつでも協働して包括的な支援サービスのための調整ができる関係を構築するために、毎月最終週の水曜日9:00~10:00に開催しました。

○ふくし座談会の実施

地区の諸団体が広く連携して取り組むことが望ましい事柄について、自治会役員、民生委員児童委員などの地区のコアメンバーによって協議をするふくし座談会を開催しました。

地区	期日	会場	参加者
立神	3月7日	立神ふれあいセンター	6名
磯部	3月14日	下之郷区事務所	12名
間崎	3月20日	間崎島開発総合センター	22名
和具	3月29日	志摩文化ホール	16名

## 4. 受託事業

(1) 地域生活拠点づくり事業 [志摩市より受託] 

評価	B
----	---

志摩町の和具地区及び間崎地区を対象地区として、訪問による生活実態とニーズの把握及び地域課題の抽出を進めながら、高齢化と人口減少や生活環境課題（買い物支援等）を見据え、地域住民と共に考え、地域福祉コーディネートによる地域コミュニティの活性化を図ることを目的とした地域拠点づくりを進めました。

### 〈1〉和具地区

#### ① 「前島庵」

平日の8:30~12:00まで当会職員が駐在し、地域住民が気軽に来所・相談できる場、地域からの相談や各種団体との連携ができる地域拠点として利活用しています。

利用団体	利用目的	延べ回数	延人数
志摩地区民生委員児童委員協議会	高齢者福祉部会会議	8回	35名
	障がい福祉部会会議	1回	5名
	和具地区会議	5回	44名
	防災係会議	8回	32名
	会計監査	1回	5名
志摩夢まちサポーターズ	役員会議	2回	7名
ヘルスフレンズ	会議	1回	4名
NPO法人 気づきネットワーク	会議	1回	4名

#### ② 「地域交流施設つばさ」

週に3日、9:00~15:30まで開設し、地域住民が気軽に集い、生活相談や各種団体との連携を構築する施設として利活用し、また障がい者の就労支援事業を行ないながらの生活物品の販売や地域住民による朝市の開催場所として利活用しています。

#### ○わいわいマルシェ（朝市）の実施

- ・朝市開催をきっかけとした拠り所づくりへの広報支援

民生委員児童委員やボランティア団体の地域住民有志が中心に、7月からわいわいマルシェ実行委員会が立ち上がり、同月から月1回（毎月第4土曜日）頻度の開催となりました。朝市の定期開催に向けて地域へ情報発信のための支援を行ないました。



わいわいマルシェ（朝市）の様子

○地域拠点と障がい就労の連携

地域の小さな拠点（拠り所）と障がい者の就労支援事業との連携により、自主製品や生活日用品の販売等によるショップ運営を実施しました。

○地区の拠点づくりのための検討

地域の方々が集うことのできる拠り所や機会をつくり、アイデアと実践方法についてマルシェ関係者との検討を行ないました。

**TOPIX**

4月から、志摩町和具浦の定期船乗り場前に旧喫茶店跡の建物を借用し、拠点づくりを進めており、週3回、障がい者就労製品や日用品販売、近隣高齢者の会食会の実施しています。さらに、7月からは、民生委員の有志やボランティアの協力体制の下、『わいわいマルシェ』を月1回程度、開催しています。地区の拠り所として少しずつ定着できるように協力者同士でアイデアを出し合って進めています。

今後は、小中学校や水産高校の協力などの働きかけも出来ればと考えています。

〈2〉間崎地区

① 「いきいきショップもやい」（平成28年度から継続）

平日の10:00～15:00まで島内の運営協力員を配置し、いきいきサロンの開催、生活用品の販売など地域住民を協力員と位置づけ、障がい就労事業と連携して生活全般を支える活動を行ないました。



買い物後に世間話をしている様子



リハビリ体操の様子

**TOPIX**

いきいきショップ『もやい』開始前は、買い物不便という不安な状況がありましたが、ショップに集うことで安心感が何え、住民の皆さまの表情にゆとりと笑顔が芽生えました。

期日	内容	場所（行き先）	参加者数
7月4日	買物支援活動	賢島～鵜方	17名
8月3日	買物支援活動	賢島～鵜方	14名
8月29日	志摩市いろは講座「心の健康教室」開催	もやい	16名

10月12日	第1回お元気アドバイス	もやい	15名
10月31日	買物支援活動	賢島～鶴方	15名
11月20日	買物支援活動	賢島～伊勢市	15名
1月15日	買物支援活動	賢島～鶴方	10名
2月6日	間崎懇談会（もやい運営継続について）	もやい	11名
3月12日	買物支援活動	賢島～鶴方	11名
3月16日	間崎懇談会（もやい運営継続について）	もやい	11名
3月20日	間崎懇談会（もやい運営継続について）	間崎開発センター	22名

## コラム



昨年度まで市から拠点事業受託実施の的矢地区では、認知症予防の取組みとふれあいサロンが融合した『頭の運動教室』を実施しています。

この活動は、週1回老人憩いの家を借用し、継続して脳の活性化や健康維持の活動として実施しています。

ご参加いただいている皆さまは、定期的集える場で、おしゃべりも楽しみながら自分たちで元気を増やしている様子が伺えます。

## (2) 介護予防事業

評価
----

C
---

### 〈1〉 家族介護教室 [志摩市より受託]

介護者等が介護に関する知識や技術を学び、交流する機会を提供して、身体的・精神的な負担の軽減を図り、在宅介護を支援することを目的に開催しました。実施回数の減少もあり参加人数は昨年度より38%減となりましたが、アンケート結果より各回参加者の評価は高く、参加者の増加に向けて更なる周知が必要と考えます。

	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計
延べ実施回数	3回	3回	3回	3回	3回	15回
延べ参加者数	32名	26名	46名	44名	41名	189名

主な内容・・・ 福祉用具と介護用品について学ぶ（9月5日・14日実施）

市内の施設を見学して知識を広める

（11月27・30日、12月4日・5日・7日実施）

お口の健康と体の健康について学ぶ（2月1日実施）



9/5 福祉用具について学ぶ



2/1 お口の健康についての講演会

〈2〉介護予防拠点施設（菜の花館）の運営[志摩市より受託]

① 生きがい活動支援通所事業

閉じこもりがちな特定高齢者等を対象に、生きがい感を高め、社会参加を促進するよう通所による生活指導や趣味活動の機会を提供しました。今後もさらにプログラムを考え、利用する方の楽しみの一つとなる事業所になるよう運営し、実態把握等から当事業に該当しそうな高齢者等に利用を推進していきます。

②一般高齢者通所事業（※受託以外事業）

一般高齢者が要介護状態とならないよう予防のための入浴、レクリエーションの機会を提供しました。今後は、総合事業「通所型サービスB」等も視野に入れ、地域交流や介護予防拠点の充実に向け運営を検討していきます。

	①生きがい活動支援通所（水・金）	②一般高齢者通所（火・木）
延べ利用者数	1,102名〔前年比 -87名〕	1,172名〔前年比 +172名〕

（3）放課後児童クラブ事業[志摩市より受託]

評価

A

志摩市が開設している「浜島放課後児童クラブ」「磯部放課後児童クラブ」を受託運営し、仕事やその他の理由などで昼間、保護者がいない小学校などに通う児童を対象に、授業終了後、遊びや集団生活の場を提供してその健全育成を図りました。

〈月別延べ利用者数〉

	浜島放課後児童クラブ	磯部放課後児童クラブ	合計
平成29年4月	156名	770名	926名
5月	151名	794名	945名
6月	158名	901名	1,059名
7月	204名	813名	1,017名
8月	254名	767名	1,021名
9月	172名	802名	974名
10月	163名	878名	1,041名
11月	160名	861名	1,021名
12月	157名	801名	958名
平成30年1月	140名	755名	895名
2月	125名	675名	800名
3月	142名	797名	939名
合計	1,982名	9,614名	11,596名
〔前年比〕	+636名	+2,438名	+3,074名

【年度別延べ利用者数推移】

〔単位：名〕

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
浜島児童クラブ	2,279	3,505	1,954	1,346	1,982
磯部児童クラブ	7,441	6,552	7,249	7,176	9,614
合計	9,720	10,057	9,203	8,522	11,596

## 5. 福祉サービス利用援助事業

### (1) 在宅介護支援事業 | | | |----|---| | 評価 | B | |----|---|

地域で支援や見守りが必要な在宅の高齢者などを把握し、在宅介護に関する相談及び保健、福祉などのサービスが総合的に受けられるための支援を行ないました。

		浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	市外・不明	合計
相談・助言		27件	67件	21件	116件	157件	6件	394件
内訳	介護	0件	0件	0件	3件	0件	0件	3件
	生活・家族	8件	48件	10件	35件	44件	1件	146件
	福祉サービス	8件	8件	7件	26件	85件	1件	135件
	医療	0件	1件	0件	0件	3件	0件	4件
	経済的問題	11件	9件	4件	52件	21件	4件	101件
	権利擁護	0件	1件	0件	0件	4件	0件	5件
実態把握調査		3件	3件	2件	3件	26件		37件
介護者の会支援		0回	20回	0回	3回	6回		12回
介護予防教室等		0回	0回	0回	0回	1回		1回
福祉機器貸与		28件	32件	82件	62件	45件		249件

### (2) 障がい者相談支援事業 | | | |----|---| | 評価 | B | |----|---|

障がいのある人が地域で生活する上での困りごとについて相談に応じ、各種情報の提供や関係機関の紹介など必要な助言を行なうとともに、必要に応じてサービスの利用計画を作成し福祉サービスの利用を支援しました。利用者数は少しずつ増えてきています。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
新規	0件	4件	1件	0件	0件	0件	
更新・変更	3件	9件	1件	6件	8件	5件	
モニタリング	7件	14件	25件	14件	9件	12件	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規	4件	0件	2件	0件	0件	1件	12件
更新・変更	3件	4件	12件	9件	5件	13件	78件
モニタリング	9件	15件	3件	8件	13件	9件	138件

### (3) 日常生活自立支援センター事業 [三重県社会福祉協議会より受託] | | | |----|---| | 評価 | B | |----|---|

日常生活自立支援事業を三重県社会福祉協議会から受託し、判断能力に不安のある高齢者、障がいのある人などに福祉サービスの利用援助、日常的金銭管理、書類などの預かりサービスを行ない、できる限り地域で自立した生活が送れるよう支援しました。

#### 〈1〉活動報告

	名称 / 志摩日常生活自立支援センター						合計
	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	南伊勢町	
相談・助言	5件	3件	6件	5件	1件	2件	22件
利用契約数	1件	0件	2件	4件	3件	0件	10件



解約数	2件	6件	3件	7件	2件	3件	23件
利用者数	9名	8名	5名	31名	7名	8名	68名
区分	認知症	3名	2名	4名	7名	2名	21名
	知的障がい	4名	3名	1名	11名	3名	26名
	精神障がい	1名	3名	0名	9名	2名	16名
	その他	1名	0名	0名	4名	0名	5名
生活支援員数	5名	1名	2名	9名	0名	5名	22名
生活支援員訪問回数	264回	167回	66回	470回	118回	191回	1,276回
専門員対応生活支援訪問回数	25回	38回	7回	83回	29回	61回	243回
その他	373回	479回	285回	1,859回	353回	161回	3,510回
◆相談・助言 / 問い合わせ件数・初回相談件数							
◆その他 / 生活支援以外で対応した専門員の訪問回数及び電話相談件数							

## 〈2〉生活支援員養成研修会

生活支援員の人材確保及び現任生活支援員のスキル向上を目的に研修会を開催し、新規の受講者29名、現任生活支援員6名の参加がありました。新規受講者の内17名の登録があり、今後の活動に結び付けていきたいと考えています。

開催日	内容等
12月7日	研修内容：講義「日常生活自立支援事業と成年後見制度について」「生活困窮者自立支援制度について」「医学の基礎知識について」 場 所：サンライフあご 多目的ホール 参加者：35名
12月8日	研修内容：講義「精神障がい者への支援について」「知的障がい者への支援について」「認知症高齢者への支援について」「生活支援員の実務について」 場 所：サンライフあご 多目的ホール 参加者：35名

## (4) 成年後見制度（法人後見）

評価	B
----	---

認知症、知的障がい、精神障がいなどの障がいにより、判断能力に不安のある人の自己選択や自己決定を支援するため、成年後見制度の利用を支援しました。また、法人後見への取り組みを整理しました。

	後見	保佐	補助	合計
年度当初既受任者数	10名	2名	0名	12名
年度内新規受任者数	0名	0名	0名	0名
年度内後見終了者数	1名	0名	0名	1名
年度末利用者数合計	9名	2名	0名	11名

## (5) 生活困窮者自立支援事業

評価	B
----	---

平成27年4月に施行された生活困窮者自立支援法に基づき、自立相談支援、就労準備支援、家計相談支援の3つの事業を志摩市から受託し、生活困窮者が困窮状態から早期に脱却することを目的に、生活困窮者の状況に応じた包括的かつ継続的な支援を行ないました。

〈1〉 自立相談支援事業

複合的な課題を有する生活困窮世帯の自立生活に向け包括的・継続的な支援を行い、生活保護へ陥ることのないよう相談支援を実施しました。

この他、相談支援のネットワークによる活動として、ハローワーク伊勢と生活保護受給者等就労自立促進事業で行う巡回相談事業の活用。いせ若者就業サポートステーションとの連携。三重県社会福祉法人地域公益活動 みえ福祉の「わ」創業事業を利用しました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
新規相談受付件数	5件	6件	5件	7件	7件	8件	38件
ハローワーク巡回相談の利用	0件	2件	0件	1件	1件	0件	4件
みえ福祉の「わ」食料支援	7件	4件	1件	5件	0件	7件	24件
みえ福祉の「わ」就職活動支援事業	4件	2件	1件	0件	0件	0件	7件

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
新規相談受付件数	6件	4件	5件	6件	5件	6件	32件
ハローワーク巡回相談の利用	0件	1件	1件	1件	0件	0件	3件
みえ福祉の「わ」食料支援	2件	1件	4件	1件	2件	3件	13件
みえ福祉の「わ」就職活動支援事業	0件	0件	1件	1件	0件	0件	2件

〈2〉 就労準備支援事業

直ちに一般就労への移行が困難な相談者に対し、就労に向けた基礎的な力を身に付けることをを目的に、日常生活自立・社会自立・就労自立の支援を実施しました。就労体験として、水福連携事業での作業体験を行いました。(年間利用者3名)

〈3〉 家計相談支援事業

家計相談に応じ家計表や家計計画の作成を行ない、また緊急一時的な生計の支援のため生活福祉資金貸付事業(総合支援資金及び緊急小口資金)の利用に関する相談あつせんも行ないました。無料相談を利用し、債務整理を実施しました。(新規プラン作成4件)

〈4〉 認定就労訓練事業

本会が中間的就労の訓練事業者として三重県より認定事業所の許可を得て実施しています。昨年より引き続き、高齢者の通所介護事業での介護補助として訓練を実施しました。(年間利用者1名)

〈5〉 事業啓発

- ・ 広報紙による、相談機関の紹介、食糧提供のお願い。
- ・ 志摩市社会福祉大会 講演会 「子どもの貧困問題について考える」  
講師：大阪子どもの貧困アクショングループ 徳丸ゆき子氏



子ども、一人親家庭の貧困問題、講師自身の体験、ニュース、事例を通じた講演で、参加者からは、もっと聴きたかったという声や涙する参加者も見られました。社会問題となっている子供の貧困について考える機会となりました。（参加者約 200 名）



・生活困窮者支援にかかるアンケート調査

生活困窮者支援事業の周知状況、制度についての理解、近隣・地域での困り事の傾向を把握しました。また、具体的に困っている世帯についての情報提供を頂きました。

〈対象者〉民生児童委員、福祉委員、生活支援員研修参加者、介護事業所連絡会 196 名

〈回収結果〉回収 125 名 回収率 63.8%

具体的に情報を頂いた方には、相談に繋がるように連絡を取りました。

アンケート実施が 3 月で、回収締切を 3 月末までとした為、アンケート集計が次年度に持ち越し、結果報告は次年度に行います。

コラム

子どもの貧困や 8050 問題(※)他、多問題を抱えている相談が多く、多機関と連携を行いながら、支援をしています。

引きこもり、ニートの相談は、関係機関から相談に繋がりますが、当事者が就労意欲、自立を目指すまでに長期の支援が必要となっています。

相談員として地域住民等の関係が希薄な者を支援するにあたっての手厚い個別支援について、どのように取り組んでいくか。今後の課題です。

(※) 8050 問題【読み方：ハチマルゴーマルもんだい】とは、ひきこもりの子をもつ家庭が高齢化し、50 代の中高年のひきこもりの子を 80 代の後期高齢者にさしかかった親が面倒見るケースが増えている、という社会問題のこと。

(6) 生活福祉資金貸付事業 [三重県社会福祉協議会より受託]

評価	B
----	---

生活福祉資金貸付事業を三重県社会福祉協議会から受託し、低所得者世帯、高齢者世帯、障がい者世帯に対して資金の貸付けと必要な援助指導を行ない、経済的に安定した生活が送れるよう支援しました。

〈相談件数〉

	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	不明	合計
相談・助言	8 件	1 件	4 件	47 件	12 件	4 件	76 件

〈貸付件数〉

	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計

年度当初既貸付件数	9件	9件	25件	74件	15件	132件
年度内新規貸付件数	0件	1件	0件	5件	4件	10件
年度内償還完了等件数	2件	0件	1件	3件	3件	9件
年度末貸付件数	7件	10件	24件	76件	16件	133件

(7) 専門相談会 

評価	B
----	---

土地、相続、金銭貸借など民法上の相談窓口として、専門相談会を開催しました。予約枠に対して、弁護相談は 88%、司法書士相談は 90%の実積率となっており、市民からの要望の高さが伺われます。

相談区分	法律相談 (弁護士)	登記・訴訟相談 (司法書士)
開催回数	10回	10回
相談件数	37件	54件

## 6. 赤い羽根共同募金運動の協力

社会福祉法人三重県共同募金会志摩市共同募金委員会が実施する赤い羽根共同募金運動に協力し、地域福祉の財源確保に努めました。

(1) 運営委員会 

評価	B
----	---

期日	議決事項	出席者	開催場所
[第1回] 5月26日	1. 平成28年度事業実施報告について 2. 平成28年度一般会計決算の承認について 3. 平成28年度(29年度充当)共同募金配分計画変更について 4. 平成29年度(30年度充当)共同募金配分計画について	運営委員10名 監事2名	磯部健康福祉センター
[第2回] 8月24日	1. 平成29年度共同募金目標額について	運営委員9名 監事2名	磯部健康福祉センター
[第3回] 1月30日	1. 志摩市共同募金委員会運営委員及び監事の選任について	運営委員11名 監事2名	磯部健康福祉センター
[第4回] 2月27日	1. 会長及び副会長の選任について 2. 平成29年度一般会計補正予算について 3. 平成30年度事業計画について 4. 平成30年度一般会計予算について	運営委員11名 監事2名	磯部健康福祉センター

(2) 監事監査会 

評価	B
----	---

期日	内容	出席者	開催場所
[第1回] 5月12日	平成28年度決算監査(下記書類を中心に監査) ① 平成28年度事業実施報告書 ② 平成28年度一般会計決算書、平成28年度法人本部サービス区分資金収支決算書、平成28年度	監事2名	磯部健康福祉センター

	寄付金サービス区分資金収支決算書、平成 28 年度貸借対照表、平成 28 年度残高証明書	
--	----------------------------------------------	--

(3) 一般募金

期間：10月1日～12月31日

評価	C
----	---

[単位：円]

募金種別	浜島支所	大王支所	志摩支所	阿児支所	磯部支所	合計
戸別募金	653,500	725,947	1,028,270	1,485,502	1,000,400	4,893,619
法人募金	0	0	0	0	0	0
街頭募金		11,238	10,171	60,048	13,690	95,147
学校募金	0	0	200	0	0	200
職域募金	2,785	2,202	2,715	14,503	12,000	34,205
イベント募金	4,392	6,251	0	1,580	22,064	34,287
個人募金	0	0	0	0	0	0
その他	0	1,120	0	10,060	2,565	13,745
合計	660,677	746,758	1,041,356	1,571,693	1,050,719	5,071,203

[前年比：-268,496円]

【一般募金の推移】

[単位：円]

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
一般募金	5,782,809	5,643,731	5,524,323	5,339,699	5,071,203

(4) 歳末たすけあい募金 期間：12月1日～12月31日

評価	A
----	---

[単位：円]

募金種別	浜島支所	大王支所	志摩支所	阿児支所	磯部支所	合計
戸別募金	647,500	703,202	992,701	1,482,551	950,965	4,776,919
法人募金	113,000	270,000	128,000	303,114	324,000	1,138,114
街頭募金	0	0	0	0	0	0
学校募金	0	0	0	0	0	0
職域募金	0	5,500	0	14,079	11,451	31,030
イベント募金	0	0	0	0	0	0
個人募金	0	4,000	0	0	0	4,000
その他	0	0	1	2	1	4
合計	760,500	982,702	1,120,702	1,799,746	1,286,417	5,950,067

[前年比：+188,532]

【歳末たすけあい募金の推移】

[単位：円]

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
歳末募金	5,771,933	5,585,875	5,653,878	5,761,535	5,950,067

## 7. 当事者団体の活動支援、協力

(1) 志摩市老人クラブ連合会・志摩市身体障害者福祉連合会等

評価	B
----	---

志摩市老人クラブ連合会及び志摩市障がい者福祉会等の各種福祉団体の自主運営を支援しました。

期日	事業名	会場
6月29日	阿児町老人福祉大会	阿児アリーナ
10月12日	志摩市障がい者福祉体育大会	磯部ふれあい公園
11月9日	志摩市老人クラブ連合会スポーツ交流大会	磯部ふれあい公園
11月28日	浜島町敬老会	伊勢志摩ロイヤルホテル
12月14日	志摩市障がい者福祉大会 志摩市障がい者忘年芸能発表会	磯部生涯学習センター
2月9日	志摩市老人クラブ連合会役員研修会	磯部生涯学習センター
2月14日	浜島町敬老会記念品送付作業	桧山路生涯学習センター

## 8. 事業評価と今後の課題〔地域福祉活動推進事業〕

平成29年度から、志摩市より受託した生活支援体制整備事業では、地域支援コーディネーターを市内各町に1名ずつ配置し、地域ニーズの発掘に向けた訪問活動を積極的に進めています。これは地域福祉活動計画に基づき、今まで以上に各コーディネーターが地域に近い存在となり小地域の活動が徐々に具体的なものとなるよう進めており、コーディネーターの行動目標（KPI）としているものです。

行動目標（KPI）では、地域支援コーディネーターが主に『月10地区以上の地域への訪問活動』や『月1回の定例連携会議』を意識的に進めたものの、『市内全地区でのふくし座談会の開催』は4件に止まっており、地域支援コーディネーター養成研修は未実施でした。平成30年度は、ふくし座談会を市内全地区にて開催し、地域の現状や課題について共有した上で新たな地域のあり方を地域のみなさまと共に考えていきます。

また、地域づくりには欠かせない存在として、3層・4層地域の地域支援コーディネーター（地域支えあい協力員）養成研修の実施を予定します。

地域支援コーディネーターについては担当者それぞれが、最良の支援が何かを模索しながら進めておりますが、これからの支援プログラム作りが重要課題となっています。

今後は、小地域が少しでも活性化されるための目標やプロセスについて地域の皆様とコーディネーターとが同じ認識を持ち、小地域活動の取組みを共に作り上げることができるよう地域支援を進めていきます。

さらに、日常生活自立支援・生活困窮者自立支援の観点から、地域でお困りの個別相談については随時の相談受付・面談・訪問活動により相談者の生活課題を真摯に受け止め、自立生活に向けた支援マネジメントを行ないます。また、連携支援が必要な場合は地域支援コーディネーターと連動して支援を実施してまいります。

### Ⅲ. 在宅福祉サービス事業

#### 1. 介護保険サービス関係事業

(1) 居宅介護支援事業 

評価	C
----	---

居宅介護支援課においては、前年度と比較すると大王事業所は介護、予防共に利用者増となっておりますが、磯部事業所は介護、予防共に利用者減となり、トータルでは利用者減となっております。これにつきましては、亡くなった方が多くいたことや特別養護老人ホームの増設により施設入所された方が増えたことが原因と思われまます。

事業内容	介護保険で要介護認定されたご本人及びご家族の依頼により利用者の心身の状態及び家庭の状況に応じて、利用者の希望に基づき、適切な介護サービスが総合的に受けられるように居宅サービス計画（ケアプラン）を作成します。また要支援認定された方に対して、志摩市などからの委託により介護予防プランの作成も行ないます。
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

#### 【月別ケアプラン作成件数】

	大王事業所		きらり事業所		磯部事業所		合計
	介護	予防※	介護	予防※	介護	予防※	
平成 29 年 4 月	334 件	28 件	0 件	0 件	430 件	26 件	818 件
5 月	336 件	28 件	0 件	0 件	427 件	28 件	819 件
6 月	340 件	28 件	0 件	0 件	416 件	29 件	813 件
7 月	337 件	29 件	0 件	0 件	408 件	25 件	799 件
8 月	335 件	27 件	0 件	0 件	410 件	23 件	795 件
9 月	344 件	26 件	0 件	0 件	410 件	23 件	803 件
10 月	349 件	27 件	0 件	0 件	409 件	25 件	810 件
11 月	345 件	27 件	0 件	0 件	402 件	24 件	798 件
12 月	338 件	30 件	0 件	0 件	405 件	25 件	798 件
1 月	324 件	29 件	0 件	0 件	397 件	20 件	770 件
2 月	315 件	28 件	0 件	0 件	395 件	18 件	756 件
3 月	319 件	28 件	0 件	0 件	399 件	20 件	766 件
事業所別合計	4016 件	335 件	0 件	0 件	4908 件	286 件	9545 件
〔前年比〕	17 件	42 件	-14 件	±0 件	-96 件	-32 件	-83 件

※予防に係るケアプラン策定事業については、志摩市以外に世田谷区・鳥羽市より受託。  
なお、きらり事業所については平成 29 年 1 月より休止。

#### 【認定調査取扱い件数】

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	合計
調査件数	11 件	3 件	11 件	7 件	10 件	6 件	
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
調査件数	8 件	3 件	1 件	4 件	5 件	4 件	73 件

※鳥羽志勢広域、伊勢市、度会広域、河南町、一宮市、豊山町、津市、大阪市より受託。

## 【年度別推移】

〔単位：収入／円，作成数／件〕

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
収入	148,688,120	144,380,790	149,330,020	148,916,010	147,495,334
延べ作成件数	10,198	9,922	9,565	9,628	9,545

## (2) 訪問介護事業 &lt;阿児事業所&gt;

評価	C
----	---

事業内容	訪問介護員（ホームヘルパー）がご自宅まで訪問して、入浴・排泄・食事等の介護やその他の日常生活上の援助を行ないます。
------	-----------------------------------------------------------

## 【月別延べ利用者数及び延べサービス提供時間数】

〔時間：分〕

	延べ利用者数	延べサービス提供時間数	サービス提供時間内訳		
			身体介護	生活援助	予防 (総合事業)
平成 29 年 4 月	2,137 名	1,917 : 45	474 : 00	1,299 : 00	144 : 45
5 月	2,163 名	1,939 : 30	471 : 00	1,333 : 15	135 : 15
6 月	1,999 名	1,827 : 00	432 : 30	1,256 : 45	137 : 45
7 月	2,044 名	1,876 : 00	372 : 00	1,375 : 15	128 : 45
8 月	1,966 名	1,810 : 45	378 : 00	1,303 : 45	129 : 00
9 月	2,082 名	1,929 : 30	440 : 30	1,364 : 00	125 : 00
10 月	2,088 名	1,920 : 45	376 : 00	1,428 : 30	116 : 15
11 月	1,952 名	1,805 : 45	359 : 00	1,336 : 45	110 : 00
12 月	1,982 名	1,793 : 15	359 : 00	1,308 : 00	126 : 15
1 月	1,830 名	1,656 : 00	382 : 30	1,178 : 15	95 : 15
2 月	1,680 名	1,541 : 45	349 : 00	1,091 : 15	101 : 30
3 月	1,821 名	1,627 : 00	441 : 30	1,067 : 30	118 : 00
事業所別合計	23,744 名	21,645 : 00	4,835 : 00	15,342 : 15	1,467 : 45
〔前年比〕	-3,099 名	-2,639 : 30	-1,858 : 00	-440 : 30	-341 : 00

## 【年度別推移】

〔単位：収入／円，利用者数／名〕

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
介護保険収入	109,291,307	97,267,434	88,243,911	73,746,410	67,676,293
延べ利用者数	39,499	33,942	30,946	26,843	23,744

※介護職員の減（採用：2名、退職：5名）がありましたが、事故なくサービスを提供する事ができました。少ない職員で無駄のない調整を行ってききましたが、身体介護の大幅な減が、収入減に大きく影響していると思われます。新規の利用者は、ほぼ受け入れてきましたが、職員の増が望めない中での調整は難しく、また、利用者を選ぶこともできないため、これ以上の増収は難しく思えます。しかし、介護福祉士資格を取得した職員が5名増えたので、早急に体制を見直し、加算の算定について検討していきます。

## (3) 訪問入浴介護事業 &lt;阿児事業所&gt;

評価	B
----	---

事業内容	自宅の浴槽では入浴が困難な方に対して、看護師及び介護職員等が入浴車で訪問し、お部屋で入浴介助を行ないます。
------	-------------------------------------------------------

【月別延べ利用者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用者数	101名	114名	132名	113名	118名	112名
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者数	128名	136名	107名	116名	112名	130名
延べ利用者合計	1,419名			前年比	+76名	

【年度別推移】

[単位：収入/円, 利用者数/名]

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
介護保険収入	22,083,320	21,316,190	16,995,270	17,146,310	18,687,159
延べ利用者数	1,735	1,660	1,330	1,343	1,419

※年間通して、事故、苦情なくサービスの提供ができました。7月から試験的に祭日営業を行ったことで利用者増につながりましたが、介護職員の退職もあり、事業所内で協議しましたが、継続が難しく、年度末で祭日営業を中止しました。利用者増、収入増は祭日営業の分と思われる。入浴車の老朽化もあり、サービス提供体制について見直しが必要と考えています。訪問介護同様、介護福祉士資格取得者が増えたので、加算の算定について検討していきます。

(4) 通所介護事業

評価	B
----	---

事業内容	デイサービスセンターまで通所していただき、食事や入浴の介護サービスや健康体操、レクリエーションなどを日帰りで行ないます。
------	--------------------------------------------------------------

【月別延べ利用者数】 (予防・基準該当生活介護含む)

	浜島事業所	大王事業所	阿児事業所	磯部事業所	合計
事業所利用定員	35名	40名	35名	40名	
平成29年4月	644名	672名	622名	824名	2,762名
5月	690名	781名	643名	880名	2,994名
6月	674名	785名	613名	848名	2,920名
7月	671名	786名	665名	837名	2,959名
8月	629名	744名	642名	795名	2,810名
9月	631名	808名	700名	768名	2,907名
10月	672名	770名	689名	799名	2,930名
11月	688名	785名	668名	770名	2,911名
12月	586名	684名	615名	703名	2,588名
1月	577名	611名	600名	666名	2,454名
2月	428名	594名	634名	654名	2,310名
3月	680名	710名	709名	751名	2,850名
事業所別合計	7,570名	8,730名	7,800名	9,295名	33,395名
[前年比]	107名	-428名	323名	-230名	-228名
サービス提供日数	302日	306日	307日	307日	

1日平均	25.1名	28.5名	25.4名	30.3名	
------	-------	-------	-------	-------	--

【年度別推移】

〔単位：収入／円，利用者数／人〕

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
収入	312,426,429	283,839,718	275,287,149	285,337,916	287,290,029
延べ利用者数	35,534	32,345	32,116	33,623	33,395

※通所介護事業においては、中間報告では前年度と比較して利用者増でしたが、最終的には利用者減となりました。その理由として寒冬により、インフルエンザが流行し、お休みする利用者が多かったことが挙げられます。特に浜島通所におきましては、顕著で5日間休止にしました。また大王通所では利用者減となっていますが、そのうち約240名は生活介護の利用者であり、障がいの生活介護にて利用者数をカウントしています。それと28年度が大幅に利用者増となったことやお亡くなりになったり施設入所をされたりした方が多くあったためであります。磯部通所においても大王通所と同様にお亡くなりになったり施設入所をされたりした方が多くあったため減少しています。次に阿児通所ですが、2年連続で利用者増となりました。その理由として、他事業所のケアマネからも新規の利用依頼がありました。阿児には多くの通所介護事業所がありますが、小規模事業所が多く特浴（機械浴）で入れる事業所が少ないため、重度の方の利用依頼がこちらに寄せられてきます。また、役職員の口コミにより増えているのも要因です。

収入につきましては、利用者減にもかかわらず、前年度より増えています。この理由は、サービス提供体制強化加算を浜島通所で、中重度ケア体制加算を磯部通所で新たに1年間算定できたためであります。

支出面におきましては、規模に応じて常勤職員を配置し、人材が不足する日には各事業所から職員が応援することで対応しました。また、給食施設を一部統合したことにより、若干であります人件費を抑制できました。しかしながら、施設設備や車両の修繕費用が大幅に増えています。そのため、車両に関しては、少しずつリース車両へ入れ替えを行いました。

通所全体の評価として、利用者数は減ったものの収入増となり、その結果収支差額が28年度より増えたため、概ね計画どおりと評価しました。

(5) 福祉用具貸与事業 《阿児事業所》

評価 B

事業内容	個人では購入しづらい福祉機器を貸し出したり、販売することによって、在宅の環境を整え、在宅での生活と介護を支援します。
------	------------------------------------------------------------

【月別延べ利用者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
貸与利用者数	10名	12名	12名	12名	12名	10名
販売利用者数	0名	0名	1名	1名	0名	0名
合計	10名	12名	13名	13名	12名	10名
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
貸与利用者数	12名	12名	12名	12名	12名	11名
販売利用者数	0名	0名	1名	0名	0名	0名
合計	12名	12名	13名	12名	12名	11名
利用者合計	貸与		139名〔前年比 -7名〕			
	販売		3名〔前年比 +3名〕			



## 【年度別推移】

〔単位：収入／円，利用者数／人〕

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
介護保険収入	3,425,730	2,702,210	2,568,880	1,965,290	2,404,554
延べ利用者数	279	209	187	146	142

※訪問介護、障害居宅の職員が兼務で行い、年間を通して、事故・苦情なくサービスに提供ができました。現人員（兼務2名）では、現状維持が精一杯と思われるが、近鉄サプライ（業務提携事業所）の職員と連携をさらに密にして、スムーズなサービス提供に努めていきます。

社協独自事業である補完型福祉機器の貸与も同事業所で行っており、利用者へは、社協会員への加入、介護保険への移行を促しながら対応し、僅かですが会員加入、介護保険への移行が出来ました。

## (6) 訪問看護事業 ‹阿児事業所›

評価	C
----	---

事業内容	看護師等がご自宅まで訪問して、主治医の指示により、療養のお世話や必要な診療の補助を行ないます。また一部病状によっては医療保険の対象になります。
------	-------------------------------------------------------------------------

## 【月別延べ利用者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
介護保険	182名	193名	191名	185名	196名	190名
医療保険	33名	37名	33名	35名	23名	12名
合計	215名	230名	224名	220名	219名	202名
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護保険	185名	172名	169名	159名	157名	178名
医療保険	13名	13名	12名	12名	12名	13名
合計	198名	185名	181名	171名	169名	191名
延べ利用者数 合計	介護保険		2,157名〔前年比+31名〕			
	医療保険		248名〔前年比-411名〕			

## 【年度別推移】

〔単位：収入／円，利用者数／人〕

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
介護保険収入	18,298,620	15,465,050	13,764,090	12,643,660	12,948,510
医療保険収入	3,565,900	3,870,890	3,867,980	5,887,030	2,180,080
延べ利用者数(介)	2,904	2,493	2,330	2,126	2,157
延べ利用者数(医)	408	437	426	659	248

※年間を通して、事故、苦情なくサービスの提供ができました。介護保険の利用者はわずかであるが、増加がみられましたが、医療保険の利用者は利用終了後、新規利用者がなく、大幅な減につながってしまいました。新規利用者獲得に向け、効率よい訪問調整を行い、空き情報を居宅介護支援事業所に情報提供するなど、努力してまいります。

管理者以外の職員2名が、本会が行う障がい福祉事業（生活介護）への応援も行いました。

## 2. 障がい福祉サービス関係事業

(1) 障がい者ヘルパーセンター事業（ヘルパーセンターあんず《阿児事業所》）

評価	B
----	---

事業内容	<p>自立支援給付：訪問介護員（ホームヘルパー）がご自宅まで訪問して、入浴、排泄、食事等の介護やその他の日常生活上の援助を行なっています。</p> <p>移動支援：志摩市からの委託により、社会参加等の支援を行なっています。</p>
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 【月別延べ利用者数】

[時間：分]

	自立支援給付（居宅、重度訪問、同行援護）		受託事業（移動支援）	
	延べ利用者数	延べ提供時間数	延べ利用者数	延べ提供時間数
平成 29 年 4 月	507 名	734 : 45	35 名	81 : 30
5 月	514 名	744 : 00	36 名	96 : 30
6 月	524 名	768 : 45	34 名	79 : 00
7 月	518 名	766 : 30	45 名	97 : 30
8 月	479 名	687 : 00	31 名	73 : 00
9 月	483 名	661 : 45	35 名	77 : 30
10 月	527 名	765 : 45	30 名	73 : 45
11 月	512 名	783 : 30	31 名	77 : 00
12 月	523 名	738 : 30	33 名	78 : 00
1 月	514 名	723 : 15	34 名	67 : 00
2 月	481 名	633 : 30	30 名	63 : 30
3 月	537 名	847 : 15	39 名	83 : 00
合計	3,025 名	4,362 : 45	216 名	505 : 00

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
延べ利用者数	542 名	550 名	558 名	563 名	510 名	518 名
延べ提供時間	816 : 15	840 : 30	847 : 45	864 : 00	760 : 00	739 : 15
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
延べ利用者数	557 名	543 名	546 名	548 名	511 名	576 名
延べ提供時間	839 : 30	860 : 30	816 : 30	790 : 15	697 : 00	930 : 15
延べ利用者数 合計	6,522 名 [前年比 -414 名]			延べ提供時間 数合計	9,801 時間 45 分 [前年比 -432 : 15 分]	

### 【年度別推移】

[単位：収入／円，利用者数／人]

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
自立支援費等収入	31,994,920	30,940,541	35,119,647	35,972,363	39,013,546
延べ利用者数	7,017	7,400	6,791	6,936	6,522

※介護職員の減（採用：2 名、退職：5 名）があったが、事故なくサービスの提供ができた。利用者、訪問時間ともに減であるが、介護保険と違い、自立支援を目的とした、共に行うサービス（身体介護）が増えたことが増収につながったと考えられます。今年度になり、他事業所の撤退（障がい居宅：2 件、同行援護：2 件、移送サービス：1 件）に伴う新規利用者の増加があり、事業所内での調整を行いサービス提供に努めていますが、職員の増が望めない中で調

整は難しく苦慮しています。介護福祉士資格取得者が増えたので、加算の算定について検討します。

(2) 障がい者生活介護センター事業 

評価	A
----	---

6月よりえりはらを多機能事業所として実施し、また、平成29年4月より、さくらの従たる事業所から新規事業所（かがやき）を立ち上げました。利用者は、昨年度より3%減少したものの、きらりの定員を減員した事で、基本報酬単価がアップし、その結果、収入は、前年度より13%増収となりました。

事業内容	施設まで通所していただき、常に介護を必要とする方に入浴、排泄、食事の介護等を行なうとともに、創作的活動または生産活動の機会を提供しています。
------	------------------------------------------------------------------------

【月別延べ利用者数】

	生活介護センター きらり	生活介護センター かがやき	生活介護 えりはら多機能型	合計
事業所の定員	20名	20名	6名	
平成29年4月	390名	276名	—	666名
5月	386名	281名	—	667名
6月	430名	300名	32名	762名
7月	396名	275名	33名	704名
8月	400名	280名	32名	712名
9月	360名	266名	31名	657名
10月	387名	277名	33名	697名
11月	349名	255名	30名	634名
12月	373名	262名	27名	662名
平成30年1月	323名	241名	25名	589名
2月	325名	240名	23名	588名
3月	360名	288名	31名	679名
合計	4,479名	3,241名	297名	8,017名
〔前年比〕	-1,389名	新規のため	新規のため	-219名

【年度別推移】

〔単位：収入／円，利用者数／人〕

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
自立支援費等収入	70,343,309	80,104,690	82,005,406	88,145,423	99,782,438
延べ利用者数	7,527	8,313	8,106	8,236	8,017

(3) 日中一時支援事業 

評価	B
----	---

今年度、1名の利用者が生活介護へ移行したことにより、日中一時支援事業の利用者は、減となりましたが、今後も、生活介護の報酬単価よりも、日中一時支援報酬単価が、低い事もありこの傾向が続くと予想されます。

事業内容	障がいのある人の日中の活動の場を確保し、その家族の就労を支援して、一時的な休息の場を提供しています。
------	----------------------------------------------------

【月別延べ利用者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
利用者数	12名	14名	13名	12名	10名	10名	71名
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	7名	9名	4名	9名	10名	12名	51名
延べ利用者数合計			延べ利用者数合計 122名（前年比－17名）				

【年度別推移】

〔単位：収入／円，利用者数／人〕

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業等収入	544,645	472,746	464,980	296,526	263,242
延べ利用者数	232	205	196	139	122

(4) 障がい児童デイサービスセンター事業

評価	A
----	---

今まで、基準該当サービスで実施していたのを、平成29年4月より、新規事業所（くれよん2）として立ち上げました。

その結果、利用者数は、前年度より13%増え、収入も基準該当サービス事業より指定サービス事業に変更した事により46%、前年度より増収となりました。

事業内容	障がい児に日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練等を行なっています
------	--------------------------------------------

【月別延べ利用者数】

	浜島・くれよん	大王・くれよん2	合計
平成29年4月	160名	92名	252名
5月	213名	86名	299名
6月	215名	97名	312名
7月	194名	115名	309名
8月	220名	150名	370名
9月	205名	91名	296名
10月	194名	101名	295名
11月	190名	89名	279名
12月	197名	95名	292名
1月	158名	71名	229名
2月	177名	80名	257名
3月	194名	97名	291名
合計	2,317名	1,164名	3,481名
〔前年比〕	366名	43名	409名

【年度別推移】

〔単位：収入／円，利用者数／人〕

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
自立支援費等収入	36,443,897	35,637,539	30,944,863	25,829,864	37,758,046

延べ利用者数	4,031	3,850	3,926	3,072	3,481名
--------	-------	-------	-------	-------	--------

(5) 就労支援事業

評価	C
----	---

就労系サービスにおいては、前年度より、就労支援事業収入が、7%減、自立支援給付費は2%減、利用者数は8%減となりました。就労支援事業収入は、はばたきのきんこ芋の収穫量の減、えりはらのパンの売り上げ減、あいのそののふくしの魚やの仕入れ量の減少等によります。また、自立支援給付費減や利用者減については、障がい特性により利用者の長期欠席等によります。

〈1〉 事業実施状況

①就労継続支援B型事業

事業内容	一般企業等での就労が困難な方に、働く場を提供するとともに知識及び能力の向上のために必要な訓練等を行ないます。
------	--------------------------------------------------------

【月別延べ利用者数】

障がい者支援施設名	障がい者支援施設 はばたき	障がい者支援施設 あいのその	障がい者支援施設 えりはら 多機能型	合計
事業所の定員	20名	20名	14名	
平成29年4月	348名	398名	362名	1,108名
5月	372名	416名	384名	1,172名
6月	388名	446名	406名	1,240名
7月	361名	401名	381名	1,143名
8月	361名	411名	358名	1,130名
9月	390名	409名	377名	1,176名
10月	402名	438名	377名	1,217名
11月	388名	423名	387名	1,198名
12月	375名	405名	349名	1,129名
1月	331名	380名	331名	1,042名
2月	349名	377名	323名	1,049名
3月	401名	415名	398名	1,214名
合計	4,466名	4,919名	4,433名	13,818名
〔前年比〕	-545名	1,765名	-2,527名	-1,307名

\*あいのその、えりはらの大幅な増減は、ひかり作業場の所属の変更に伴うもの。

\*えりはらの人数は、生活介護の利用者を含まず。

【年度別推移】

〔単位：収入/円，利用者数/人〕

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
就労支援事業収入	36,497,402	38,610,819	40,531,952	37,369,873	33,829,457
自立支援費等収入	149,491,030	150,457,329	138,519,763	125,270,210	123,366,630
延べ利用者数	18,039	17,588	16,168	15,125	13,818

②就労移行支援事業・就労継続A型事業

事業内容	就労移行支援事業	一般就労に向けて必要な知識・能力を養い、本人の適性に見合った職場への就労と定着を目指します。
	就労継続A型事業	就労を希望する65歳未満の障がいのある方に対して、雇用契約に基づく生産活動を行い、一般就労への移行を目指します。

【月別延べ利用者数】

障がい者支援施設名	就労移行支援事業 ひまわり	就労継続A型事業 ひまわり	合計
事業所の定員	10名	10名	
平成29年4月	98名	18名	116名
5月	93名	20名	113名
6月	95名	22名	117名
7月	73名	20名	93名
8月	55名	18名	73名
9月	57名	20名	77名
10月	56名	20名	76名
11月	49名	19名	68名
12月	51名	26名	77名
1月	41名	34名	75名
2月	36名	36名	72名
3月	11名	40名	51名
合計	715名	293名	1,008名
〔前年比〕	-65名	107名	42名

【年度別推移】

収入／円，利用者数／人

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
就労支援事業収入	209,890	10,269,034	10,361,480
自立支援費等収入	1,556,410	10,461,611	10,049,125
延べ利用者数	154	966	1,008

〈2〉就労支援事業内容

中心施設	付属作業場	作業内容等	備考
障がい者支援施設 はばたき 利用者 34名	福祉農園	農園芸作業・食品加工・販売活動 ※本体施設内	花卉園芸作業 野菜づくり等
	菓子工房 エスパス	クッキー・ケーキ作り、販売 ※本体施設内	菓子製造作業
	味処 はばたき	飲食店・レストラン経営 ※市役所本庁舎	飲食・弁当仕出し ケーキ等販売
	福祉市場 レインボー	地場産品直売所運営、受託販売 ※市役所横直売店舗	農産品 水産加工品 鮮魚販売

	その他	受託建物清掃・公園清掃作業 工賃倍増新商品の開発事業等	県道公園清掃 スパ・イン村ほか
障がい者 支援施設 あいのそ の  利用者 28名	本体施設	真珠商品・ビーズ商品作成販売 EM関連商品作り・販売、清掃作業 ミニ畳、手編みマットの作成・販売 リサイクル作業（資源回収選別） 鮮魚販売	自主製品販売、道の 駅・ホテル等への委託 販売 志摩市のリサイクル 活動事業所として登 録
	味工房 ともやま	関係施設の給食調理・運搬 高齢者食事サービス弁当調理 宿泊者（野外活動センター）の食事 提供等	野外活動センターと の連携業務 シルバー人材との連 携
	ひかり 作業場	電器会社等受託作業 リサイクル作業（資源回収）	志摩市のリサイクル 活動事業所として登 録
	つばさ 作業場	手編みマットの作成 地域交流施設つばさでのバザー用 品、日用品、自主製品販売	社協地域支援課と連 携し地域交流施設つ ばさの運営協力
障がい者 支援施設 えりはら （多機能 型） 利用者 27名	本体施設	パン製造・販売販 自主製品（手芸・名札等等作成） 電器会社等受託作業 農園芸作業	毎月フェアパン販 売・会社、サロン等 で販売
障がい者 就労支援 事業所 「ひまわ り」 （多機能 型）	就労移行支援 1名	企業への現場実習 清掃作業 間崎ショップ仕入・販売 水産業（牡蠣清掃他委託、牡蠣・）	ハローワーク等の情 報収集や就労訓練 地域事業と連携した 取り組み
	就労継続支援A型 事業所 1名	清掃作業 水産業（牡蠣清掃他委託）	ハローワーク等の情 報収集や就労訓練 地域事業と連携した 取り組み

### 〈3〉その他

#### ① 障がい者支援施設はばたき

○地域のイベント等の行事に積極的に参加し利用者の社会参加・販売機会の拡大となりました。

- ・毎月継続してルーベンハイム志摩へ出張喫茶を行なう事が出来ました。
- ・今年度より志摩市の企画するオレンジカフェへ毎月出張販売に行く事で、販路拡大と収益の増収につながりました。
- ・老人福大会等イベントへの出張販売を行ないました。
- ・市役所と連携し、就学前児童、小学生を対象とした芋煮会を行ない地元の児童との交流を図ることができました。
- ・また、立神小学校の児童と芋ほり交流を行い福祉教育の場を担う事ができました。

○障がい理解・啓発を深めるために、社会人・学生の体験・実習の受け入れを積極的に行ないました。

- ・わかば学園の実習生を5月、2月に受入しました。
- ・社会人、学生等の介護等体験8月、9月に受入しました。
- ・社会福祉士等実習8月に受入しました
- ・中学生の職場等体験9月に受入しました。

## ② 障がい者支援施設あいのその

- ・地域の方々の協力のもとで、リサイクル活動、イエローシート活動を実施してきました。
- ・地域行事に参加し、地域との交流を実施してきました。
- ・地域の学生の体験の受入を行なってきました。
- ・三重県外湾魚協から鮮魚を仕入れ、レインボー（はばたき）での鮮魚販売、地域での移動販売を継続的に実施してきました。

## ③障がい者支援施設えりはら

- ・平成29年6月 生活介護えりはらを含む「多機能事業所えりはら」を開始しました。
- ・市内のイベントや青空市、サロン、学校等でのパン販売を通して、地域との交流の機会を作ってきました。
- ・磯部小学校と年間を通じて交流してきました。
- ・遠足等のレクリエーション、イエローシート活動等を行なってきました。
- ・障がい事業所の厨房施設の統合により、工賃向上を目ざし、12月よりえりはらの厨房施設を活用し、試行的に惣菜事業を行いました。
- ・水産業と福祉の連携事業としてかき清掃の作業を数ヶ月行なってきました。
- ・三重県障がい者工賃向上計画支援事業を利用し、コンサルタントに計6回訪問していただき、原価計算、工賃の見直しをおこないました。

## ④障がい者就労支援事業所「ひまわり」

- ・水産業の作業を主に行ない、障がい者の一般就労を目的とし事業に取り組んできました。
- ・就労移行の2名の利用者が、他のA型事業所へ、就労移行利用者1名とA型利用者1名が一般就労へ巣立っていきました。
- ・地域福祉事業と共同で、間崎地域のショップ運営を行なってきましたが、今年度で、終了しました。
- ・就労移行事業においては、新規利用者の伸び悩みや基本単価の低下など、今後運用の形態等について検討が必要になってきております。

### 3. ふくし移送サービス事業〔福祉有償運送事業〕

(1) 公的介護サービスにともなう移送サービス事業(独自事業)

評価	A
----	---

一般の公共交通機関を利用して移動することが困難な高齢者や障がい者に対して、福祉車両



を用いて通院など（介護保険、障がい自立支援法に基づく通院介助）を支援しました。

※介護一体型サービスの増加は殆どが障がいヘルパー事業利用者で、それに伴い、障がいヘルパーの収入増にもつながりました。訪問調整を行い、福祉車両を有効活用することで、利用者ニーズに沿ったサービスの提供ができたように思えます。

(2) 外出支援サービス事業 [志摩市より受託] 

評価	B
----	---

一般の公共交通機関を利用して移動することが困難な高齢者等に対して、福祉車両を用いて定期的な通院など（市の要綱に基づく外出）を支援しました。

※利用者減で大幅な回数減となりました。新規利用者もなく、原因は、事業の周知不足も1つとして考えられますが、担当者1名（兼務）、車両1台で対応する当事業所にとっては、利用者増は受け入れ難い状況です。現利用者は4名（内2名は年2回のみ利用）で、車両の老朽化、通院時の拘束時間等経費を考慮すると協議に値する事業であると思われます。

【ふくし移送サービス事業の利用状況】

	(1)介護一体型	(2)外出支援	合計
延べ利用回数	926回	98回	1,024回
[前年比]	+191回	-118回	-98回

【年度別延べ利用回数推移】

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
介護一体型	1,122回	1,018回	786回	735回	926回
外出支援	273回	338回	309回	216回	98回
その他一般型	2,036回	974回	577回	171回	廃止
合計	3,488回	2,369回	1,933回	1,122回	1,024回

4. 事業評価と今後の課題 [在宅福祉サービス事業]

(居宅介護支援課関係)

居宅介護支援課においては、介護、予防共にケアプラン作成件数は減っていますが、障がいの計画相談、認定調査の件数は増えています。今後、利用者増、収入増となるために、専門性を高め、関係機関や地域との繋がりを大切にして、信頼され、選ばれる事業所となるよう取り組んでいきます。

(通所介護課関係)

今後の課題ですが、一番は人材確保であります。介護職員・看護職員・送迎員の職種において人材不足となっています。ハローワークやホームページで募集するものの解決するまでには至っていません。今後は、定期的に新聞折り込みのチラシを入れたり、人材紹介業者を活用したり、役職員や民生委員さん等からの口コミにより人材の確保に努めてまいります。

今後の方向性ですが、30年度の事業計画書でも記述したとおり大王通所において、中重度ケア体制加算が算定できなくなるため、機能訓練加算を算定していない阿児通所とともに新たに創設され

る生活機能向上連携加算（外部のリハビリ専門職と連携して機能訓練を行なった場合）の取組みをすすめていきます。

#### （訪問サービス課関係）

訪問介護事業においては、職員の資格取得を促し、介護福祉士資格取得者5名が増え、サービスの向上に努めてまいりましたが、前年度と比較し利用者減、収入減となっています。要因として、入所施設、通所施設の充実に伴う身体介護を必要とされる重度利用者の減、毎日型から週1回程度の利用者への移行と、総訪問時間数の76%を超える生活援助利用者への移行と考えられます。しかし、利用者を訪問形態で選ぶこともできず、新規利用者の9割程が生活援助のサービスを希望される利用者であるのが現状です。また、介護予防事業から移行した志摩市が行う日常生活支援総合事業において、現行相当事業のみの指定を受け、サービスの提供に努めてきましたが、現行相当に該当しない利用者が何名もあり、利用者減となっています。また、パート職員の採用者2名がありましたが、高齢化に伴う退職者が5名あり、後継者不足、人材不足は大きな課題となっています。効率よい訪問体制を充実させ職員減をカバーしていますが、障がいヘルパーでの同行援護事業、移動支援事業において、事業から撤退する事業所があり本会に求められるニーズが増えており、対応に苦慮している状態です。訪問入浴事業、訪問看護事業（介護保険事業）においてはわずかですが利用者増になっていますが、訪問看護事業の医療保険での利用者は利用終了後の新規利用者がなく、大幅な減となりました。新規利用者獲得に向け、効率よい訪問調整を行い、空き情報を居宅介護支援事業所に情報提供するなど、努力してまいります。また、各事業所において、加算の算定について検討します。移送サービスでは、志摩市からの委託である外出支援の利用者が大幅に減少し、ヘルパー一体型の利用者が増加しています。ヘルパー一体型においても事業から撤退する事業所があり、障害ヘルパー同様、対応に苦慮している状態です。また、外出支援用の移送車両（車いす対応車両）の老朽化著しく、今後の事業展開について、関係機関との協議が必要と思われます。

#### （障がい福祉課関係）

障がい福祉サービスにおいては、事業の組み換え（組織再編）を上半期同様に行なってきました。就労移行支援事業所ひまわりの従たる作業場ひまわりⅡの廃止（平成30年1月31日）、生活介護きらりの従たる作業場ゆうゆうの廃止（平成30年2月28日）、就労移行の利用者減による間崎ショップの作業中止（平成30年3月31日）、障がい者支援施設あいのそのの地域交流施設つばさでの作業中止（平成30年3月31日）など各事業所の効率化や合理化に努めてきました。

一方、利用者を支えるパート職員が退職されると補充ができなかったり、サビ管等の資格保有者不足による後継者不足、人材不足は大きな課題となっています。

今後については、3年ごとに行われる法改正（報酬改定）が、平成30年4月に実施されることを受けて、報酬・体制加算等を見直したり、法改正による新規事業が幾つか制度化されることを受けての検討が必要になってきます。

最後に、平成30年2月に社協独自で漁業権を取得したことにより「合同会社志摩ふくし水産」については、精算手続きを進めています。今後は、障がい者就労支援事業所ひまわりの一つの作業場として、事業を実施していきます。